## TENT COOPERATION TRE Y

	From the INTERNATIONAL BUREAU
PCT	То:
	1
NOTIFICATION OF ELECTION	Assistant Commissioner for Patents
*	United States Patent and Trademark
(PCT Rule 61.2)	Office Box PCT
	Washington, D.C.20231
	ETATS-UNIS D'AMERIQUE
Date of mailing (day/month/year)	in its capacity as elected Office
28 September 2000 (28.09.00)	in its capacity as elected Office
International application No.	Applicant's or agent's file reference
PCT/JP00/00245	1179
International filing date (day/month/year)	Priority date (day/month/year)
20 January 2000 (20.01.00)	20 January 1999 (20.01.99)
Applicant	
HASHIMOTO, Shin-ichi et al	
77.0.1.1.1.0.1.0.1.0.1.0.1.0.1.0.1.0.1.0	
in a notice effecting later election filed with the	t 2000 (18.08.00) International Bureau on:
2. The election X was was not	
made before the expiration of 19 months from the prince Rule 32.2(b).	ority date or, where Rule 32 applies, within the time limit under

The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland

Authorized officer

Diana Nissen

Telephone No.: (41-22) 338.83.38

Facsimile No.: (41-22) 740.14.35

THIS PAGE BLANK (USPTO)

#### 世界知的所有権機関 玉 際 惠 務 特許協力条約に基づいて公開された国際出願



(51) 国際特許分類7

C12P 7/62, 17/06 // (C12P 7/62, C12R 1:32) (C12P 7/62, C12R 1:15) (C12P 7/62, C12R 1:13) (C12P 7/62, C12R 1:01) (C12P 7/62, C12R 1:06) (C12P 7/62, C12R 1:265) (C12P 7/62, C12R 1:34)

(11) 国際公開番号 A1

WO00/43533

(43) 国際公開日

2000年7月27日(27.07.00)

(21) 国際出願番号

PCT/JP00/00245

(22) 国際出願日

2000年1月20日(20.01.00)

(30) 優先権データ

特願平11/12392

1999年1月20日(20.01.99)

(71) 出願人(米国を除くすべての指定国について) 協和醱酵工業株式会社

(KYOWA HAKKO KOGYO CO., LTD.)[JP/JP]

〒100-8185 東京都千代田区大手町一丁目6番1号 Tokyo, (JP)

(72) 発明者;および

(75) 発明者/出願人(米国についてのみ)

橋本信一(HASHIMOTO, Shin-ichi)[JP/JP]

米谷良之(YONETANI, Yoshiyuki)[JP/JP]

〒194-8533 東京都町田市旭町3丁目6番6号

協和醱酵工業株式会社 東京研究所内 Tokyo, (JP)

尾﨑明夫(OZAKI, Akio)[JP/JP]

〒747-8522 山口県防府市協和町1番1号

協和醱酵工業株式会社 技術研究所内 Yamaguchi, (JP)

(81) 指定国 AE, AL, AM, AT, AU, AZ, BA, BB, BG, BR, BY, CA, CH, CN, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, EE, ES, FI, GB, GD, GE, GH, GM, HR, HU, ID, IL, IN, IS, JP, KE, KG, KR, KZ, LC, LK, LR, LS, LT, LU, LV, MA, MD, MG, MK, MN, MW, MX, NO, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE, SG, SI, SK, SL, TJ, TM, TR, TT, TZ, UA, UG, US, UZ, VN, YU, ZA, ZW, 欧州特許 (AT, BE, CH, CY, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE), OAPI特許 (BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GW, ML, MR, NE, SN, TD, TG), ARIPO特許 (GH, GM, KE, LS, MW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZW), ユーラシア特許 (AM, AZ, BY, KG, KZ, MD, RU, TJ, TM)

添付公開書類

国際調査報告書

(54) Title: PROCESS FOR PRODUCING HMG-COA REDUCTASE INHIBITORS

(54)発明の名称 HMG-CoAレダクターゼ阻害剤の製造法

(57) Abstract

A process for producing compounds (II-a) or compounds (II-b), which are respectively hydroxylated products of compounds represented by general formula (I-a) (here in after referred to as the compounds (I-a)) or closed lactone derivatives thereof (hereinafter referred to as the compounds (I-b)). In formula (I-a) R<sup>1</sup> represents hydrogen, optionally substituted alkyl or an alkali metal; and R<sup>2</sup> represents optionally substituted alkyl or optionally substituted aryl. This process is characterized by treating in an aqueous medium the compounds (I-a) or (I-b) with an enzyme source comprising a microorganism having an activity of hydroxylating the compounds (I-a) or (I-b), having no sporulability and showing no hyphal growth, or an optionally processed culture of the microorganism and collecting the compounds (II-a) or (II-b) from the aqueous medium.

本願発明は、一般式(I-a)

(式中、 $R^1$ は水素原子、置換もしくは非置換のアルキルまたはアルカリ金属を表し、 $R^2$ は置換もしくは非置換のアルキルまたは置換もしくは非置換のアリールを表す)で表される化合物 [以下、化合物(I-a)という] またはその閉鎖ラクトン体 [以下、化合物(I-b)という] を水酸化する活性を有し、かつ胞子形成能を有さず菌糸状に生育しない微生物、該微生物の培養物または該培養物の処理物を酵素源として化合物(I-a)または化合物(I-b)に水性媒体中で作用させ、該水性媒体から化合物(I-a)または化合物(I-b)の水酸化物[以下、化合物(I-a)または化合物(I-b)という]を採取することを特徴とする、化合物(I-a)または化合物(I-b)の製造法に関する。

PCTに基づいて公開される国際出願のパンフレット第一頁に掲載されたPCT加盟国を同定するために使用されるコード(参考情報)

					> 11 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1	1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 -	010071012713	C400 - 1 (\$2.57161 +b)
	ΑE	アラブ首長国連邦 アンティグア・バーブーダ	DM	ドミニカ	K 7.	カザフスタン	RU	ロシア
	AG	アンティグア・バーブーダ	DΖ	アルジェリア	ī. č	セントルシア	ŝĎ	スーダン
	AL	アルバニア アルメニア	EΕ	エストニア	Ī. ī	リヒテンシュタイン	ŠĒ	スウェーデン
	AM	アルメニア	ES	スペイン				シンガポール
	ΑT	オーストリア	FI	フィンランド	ĹŔ	リベリア	ŠĪ	スロヴェニア
	ΑU	オーストリア オーストラリア	FR	フランス	LS	レソト	šķ	スロヴァキア
	ΑZ	アゼルバイジャン	GΑ	ガボン	ĹΤ	スリ・ランカ リベリア レソト リトアニア	Š I.	スロヴァキア シエラ・レオネ
ĺ	BΑ	ボズニア・ヘルツェゴビナ	GB	ガボン 英国	1.11	ルクヤンブルグ	C Ni	セネガル
	$\mathbf{B} \mathbf{B}$	バルバドス	GD	グレナダ	ĹV	ラトヴィア	SZ	スワジランド
	ΒE	ベルギー	GΕ	グルジア ガーナ	MA	ラトヴィア モロッコ モナコ モルドヴァ	TD	スワジランド チャード
ĺ	ΒF	ブルギナ・ファソ	GH	ガーナ	MC	モナコ	ΤG	トーゴー
	ВG	ブルガリア	GM	ガンピア	MD	モルドヴァ	ΤĴ	タジキスタン
	ВJ	ペナン	GN	ギニア	MG	マダガスカル	TM	トルクメニスタン
	BR	フルギナ・ファソ ブルガンア ブイナジル ブラルルシ カ中央アコー ロースコー スコートンポアール	GR	ギリシャ	MK	マタケアに マタケアに マタカド国 マヤ和国 マンリリー モーラウンコル マラウンコーク マンピーク エンピール オフール オフール	ア TR	トルクメニスタン トルコ トリニダッド・トバゴ
	BÅ	ペラルーシ	GW	キニア・ピサオ		共和国	ΤŢ	トリニダッド・トバゴ
	CA	カナダ	HR	クロアチア	ML	マリ	ΤZ	タンザニア
	CF	中央アプリカ	ĤΩ	ハンガリー	MN	モンゴル	UA	ウクライナ
	CH	3/3-	iñ	インドネシア	MR	モーリタニア	υç	ウガンダ
	ÇŢ	クイ ク コート ジザアー ル	1 5	ノイルフント	MW	マフワイ	បន្ទ	米国
	CM	コートンホノール	1 1	イスフェル	MX	メキシコ	UZ	ウズベキスタン
ĺ	CM	ヘイへ コートジボアール カメルーン 中国	1 14	イスラエル インド アイスランド	MZ	モサンピーク	VN	ヴェトナム
	CR	コスタ・リカ	1 2	ノイ スラント イタリア	NE	ニンエール	Ϋ́Ū	ユーゴースラヴィア
1	čΰ	キューバ	jр	イクリノ 日本	NL	オフンダ	2 A	南アフリカ共和国
Ì	CY	キプロス	) F	ケニア			2 W	ジンパブエ
ŀ	Čż	チェッコ	K C	ナルギスタン	N Z	ニュー・ジーランド ポーランド		
	C Z D E	<b>ドイ</b> ダー	K D	北朝鮮	PT	ポルトガル		
1	Ďκ	デンマーク	KB	韓国		ルーマニア		
		,	17.10	<b>→</b> □	ĸo	,, ·=,		

1

#### 明細書

## HMG-CoAレダクターゼ阻害剤の製造法

### 技術分野

本願発明はヒドロキシメチルグルタリルCoA(HMG-CoA)レダクターゼ を阻害し、血清コレステロールの低下作用を有する化合物の製造法に関する。

#### 背景技術

#### 一般式(VI-a)

(式中、 $R^1$ は水素原子またはアルカリ金属を表す)で表される化合物 [以下、化合物(VI-a)という] または一般式(VI-b)

で表される、化合物(VI-a)のラクトン体 [以下、化合物(VI-b)という] は、HMG - C o A レダクターゼを阻害し、血清コレステロールの低下作用等を示すことが知られている[ザ・ジャーナル・オブ・アンチビオチクス(The Journal of Antibiotics, 29, 1346(1976)]。

微生物によって、一般式(V-a)

(式中、R は水素原子またはアルカリ金属を表す)で表される化合物 [以下、化合物(V-a)という] または一般式(V-b)

で表される、化合物(V-a)のラクトン体 [以下、化合物(V-b)とういう] から化合物 (VI-a)または化合物(VI-b)を生成する方法に関しては既に幾つかの報告がある。

即ち、特開昭57-50894には糸状菌を用いる方法が、特開平7-184670およびW096/40863には放線菌を用いる方法が、また特許第2672551号には遺伝子組換え放線菌を使用した方法が述べられている。しかし、よく知られているように糸状菌や放線菌は菌糸を伸ばして成長するため、発酵槽で増殖させると培養液の粘度が上昇する。このため培養液中の酸素が不足しやすく、また培養液が不均一になるため反応効率が低下しやすい。この酸素不足を解消し、培養液を均一に保つためには、発酵槽の撹拌速度を上げなければならないが、撹拌速度を上げると菌糸が剪断され、微生物の活性が低下しやすい[発酵工学の基礎、p169~190, P.F. Stansbury, A. Whitaker著、学会出版センター(1988)]。

さらに、上記放線菌および糸状菌はいずれも胞子を形成する能力を有する。胞子は菌体に比べはるかに飛散しやすい上、栄養細胞が容易に死滅するような条件下でも生存できる能力があるため、培養、精製工程での微生物汚染源となりやすい。 発明の開示

本願発明の目的は、HMG-CoAレダクターゼを阻害し、血清コレステロール

の低下作用等を有する化合物の工業的に有利な製造法を提供することにある。

本願発明者らは、水酸化活性を有し、かつ胞子形成能を有さず菌糸状に生育しない微生物により化合物(V-a)または化合物(V-b)の水酸化を行うことができれば、胞子飛散による製造工程での微生物汚染や菌糸形成による培養液の不均一化にともなう反応効率の低下等の不都合を回避でき、工業的に有利であると考え、鋭意検討した結果、本願発明を完成するに至った。

即ち、本願の発明は、以下(1)~(9)に関する。

以下、特に断らない限り、一般式中で $R^1$ は水素原子、置換もしくは非置換のアルキルまたはアルカリ金属を表し、 $R^2$ は置換もしくは非置換のアルキルまたは置換もしくは非置換のアリールを表す。

#### (1) 一般式 (I-a)

$$R^{1}OOC$$
 OH HO (I-a)

で表される化合物 [以下、化合物 (I-a)という] または一般式 (I-b)

$$R^2$$
 O (I-b)

で表される、化合物(I-a)のラクトン体 [以下、化合物(I-b)という] から、一般式 (II-a)

4

で表される化合物 [以下、化合物(II-a)という] または一般式(II-b)

$$R^2$$
 (II-b)

で表される、化合物(II-a)のラクトン体 [以下、化合物(II-b)という] を生成する活性を有し、かつ胞子形成能を有さず菌糸状に生育しない微生物、該微生物の培養物または該培養物の処理物を酵素源として用い、化合物(I-a)または化合物(II-b)を水性媒体中に存在せしめ、該水性媒体中に化合物(II-a)または化合物(II-b)を生成、蓄積させ、該水性媒体から化合物(II-a)または化合物(II-b)を採取することを特徴とする、化合物(II-a)または化合物(II-b)の製造法。

## (2) 化合物(I-a)が一般式(III-a)

で表される化合物[以下化合物(III-a)という]であり、化合物(I-b)が一般式(III-b)

で表される化合物[以下、化合物(III-b)という]であり、化合物(II-a)が一般式 (IV-a)

で表される化合物[以下、化合物(IV-a)という]であり、化合物(II-b)が一般式 (IV-b)

で表される化合物[以下、化合物(IV-b)という]である、上記(1)の製造法。

### (3) 化合物(I-a)が一般式(V-a)

で表される化合物 [以下、化合物(V-a)という] であり、化合物(I-b)が一般式(V-b)

で表される化合物[以下、化合物(V-b)という]であり、化合物(II-a)が一般式(VI-a)

で表される化合物 [以下、化合物(VI-a)という] であり、化合物(II-b)が一般式 (VI-b)

で表される化合物 [以下、化合物(VI-b)という] である、上記 (1) の製造法。 (4) 化合物(I-a)が一般式(VII-a)

で表される化合物 [以下、化合物(VII-a)という] であり、化合物(I-b)が一般式(VII-b)

7

で表される化合物 [以下、化合物(VII-b)という] であり、化合物(II-a)が一般式 (VIII-a)

で表される化合物 [以下、化合物(VIII-a)という] であり、化合物(II-b)が一般式 (VIII-b)

で表される化合物 [以下、化合物(VIII-b)という] である、上記 (1) の製造法。

- (5) 微生物の培養物の処理物が、培養菌体、該菌体の乾燥物、該菌体の凍結乾燥物、該菌体の界面活性剤処理物、該菌体の酵素処理物、該菌体の超音波処理物、該菌体の機械的摩砕物、該菌体の溶媒処理物等の菌体処理物、菌体の蛋白分画物、菌体および菌体処理物の固定化物から選ばれる処理物である、上記(1)の製造法。
- (6) 微生物が、Mycobacterium属、Corynebacterium属、Brevibacterium属、Rhodococcus属、Gordona属、Arthrobacter属、Micrococcus属、Cellulomonas属、およびSphingomonas属に属する微生物から選ばれる微生物である、上記(1)の製造法。

- thermoresistibile、Mycobacterium neoaurum、Mycobacterium parafortuitum、Mycobacterium gilvum、Rhodococcus globerulus、Rhodococcus equi、Rhodococcus erythropolis、Rhodococcus rhodochrous、Rhodococcus rhodonii、Rhodococcus ruber、Rhodococcus coprophilus、Rhodococcus fascians、Gordona amarae、Gordona rubropertinctus、Gordona bronchialis、Gordona sputi、Gordona aichiensis、Gordona terrae、Corynebacterium glutamicum、Corynebacterium mycetoides、Corynebacterium variabilis、Corynebacterium ammoniagenes、Arthrobacter crystallopoietes、Arthrobacter duodecadis、Arthrobacter ramosus、Arthrobacter globiformis、Brevibacterium acetylicum、Brevibacterium linens、Brevibacterium incertum、Brevibacterium iodinum、Micrococcus luteus、Micrococcus roseus、Cellulomonas cellulans、Cellulomonas cartae、Sphingomonas paucimobilis、Sphingomonas adhaesiva、およびSphingomonas terraeから選ばれる微生物である、上記(1)の製造法。
- (8) 微生物がMycobacterium phlei JCM5865、Mycobacterium smegmatis JCM5866、Mycobacterium thermoresistibile JCM6362、Mycobacterium neoaurum JCM6365、Mycobacterium parafortuitum JCM6367、Mycobacterium gilvum
  JCM6395、Rhodococcus globerulus ATCC25714、Rhodococcus equi ATCC21387、Rhodococcus equi ATCC21387、Rhodococcus equi ATCC21430、Rhodococcus erythropolis ATCC4277、Rhodococcus rhodochrous ATCC21430、Rhodococcus rhodochrous ATCC13808、Rhodococcus rhodnii ATCC35071、Rhodococcus ruber JCM3205、Rhodococcus coprophilus ATCC29080、Rhodococcus fascians ATCC12974、Rhodococcus fascians ATCC35014、Gordona amarae ATCC27808、Gordona rubropertinctus IFM-33、Gordona rubropertinctus ATCC14352、Gordona bronchialis ATCC25592、Gordona sputi ATCC29627、Gordona aichiensis ATCC33611、Gordona terrae ATCC25594、Corynebacterium glutamicum ATCC13032、Corynebacterium glutamicum ATCC13032、Corynebacterium glutamicum MTCC19240、Corynebacterium mycetoides ATCC21134、Corynebacterium variabilis ATCC15753、Corynebacterium mycetoides ATCC21134、Corynebacterium variabilis ATCC15753、Corynebacterium ammoniagenes ATCC6872、

Arthrobacter crystallopoietes ATCC15481、Arthrobacter duodecadis ATCC13347、Arthrobacter ramosus ATCC13727、Arthrobacter sulfureus ATCC19098、Arthrobacter aurescens ATCC13344、Arthrobacter citreus ATCC11624、Arthrobacter globiformis ATCC8010、Brevibacterium acetylicum ATCC953、Brevibacterium linens ATCC19391、Brevibacterium linens ATCC9172、Brevibacterium incertum ATCC8363、Brevibacterium iodinum IF03558、Micrococcus luteus ATCC4698、Micrococcus roseus ATCC186、Cellulomonas cellulans ATCC15921、Cellulomonas cartae ATCC21681、Sphingomonas paucimobilis ATCC29837、Sphingomonas adhaesiva JCM7370、およびSphingomonas terrae ATCC15098から選ばれる微生物である、上記(1)の製造法。

(9) 微生物がGordona sp. ATCC19067である、上記(1)の製造法。

以下、本願発明を詳細に説明する。

本願発明で用いられる酵素源としては、上記化合物(I-a)または上記化合物(I-b)から、上記化合物(II-a)または上記化合物(II-b)を生成する活性を有し、かつ胞子形成能を有さず菌糸状に成育しない微生物、該微生物の培養物、該培養物の処理物があげられる。

アルキルとしては、直鎖または分岐状の、炭素数  $1 \sim 10$ 、好ましくは  $1 \sim 6$ の アルキルであり、例えばメチル、エチル、プロピル、イソプロピル、ブチル、イソブチル、secーブチル、tertーブチル、ペンチル、ネオペンチル、ヘキシル、イソヘキシル、ヘプチル、4,4ージメチルペンチル、オクチル、2,2,4ートリメチルベンチル、ノニル、デシル、これら各種分岐鎖異性体等があげられる。 アリールとしては、フェニル、ナフチル等があげられる。

置換アルキルにおける置換基としては、同一または異なって1~3のハロゲン、 ヒドロキシ、アミノ、アルコキシ、アリール等があげられる

置換アリールにおける置換基としては、同一または異なって1~3のハロゲン、 ヒドロキシ、アミノ、アルキル、アルコキシ等があげられる。

アルコキシにおけるアルキル部分は上述のアルキルと同義である。

アルカリ金属とは、リチウム、ナトリウム、カリウム、ルビジウム、セシウム、

フランシウムの各元素を表す。

上記微生物としては、例えばMycobacterium属、Corynebacterium属、Brevibacterium属、Rhodococcus属、Gordona属、Arthrobacter属、Micrococcus属、Cellulomonas属、およびSphingomonas属から選ばれる微生物があげられる。

具体的には、Mycobacterium phlei、Mycobacterium smegmatis、Mycobacterium thermoresistibile、Mycobacterium neoaurum、Mycobacterium parafortuitum、Mycobacterium gilvum、Rhodococcus globerulus、Rhodococcus equi、Rhodococcus erythropolis、Rhodococcus rhodochrous、Rhodococcus rhodnii、Rhodococcus ruber、Rhodococcus coprophilus、Rhodococcus fascians、Gordona amarae、Gordona rubropertinctus、Gordona bronchialis、Gordona sputi、Gordona aichiensis、Gordona terrae、Corynebacterium glutamicum、Corynebacterium mycetoides、Corynebacterium variabilis、Corynebacterium ammoniagenes、Arthrobacter crystallopoietes、Arthrobacter duodecadis、Arthrobacter ramosus、Arthrobacter sulfureus、Arthrobacter aurescens、Arthrobacter citreus、Arthrobacter globiformis、Brevibacterium acetylicum、Brevibacterium linens、Brevibacterium incertum、Brevibacterium iodinum、Micrococcus luteus、Micrococcus roseus、Cellulomonas cellulans、Cellulomonas cartae、Sphingomonas paucimobilis、Sphingomonas adhaesiva、およびSphingomonas terraeから選ばれる微生物があげられる。

さらに具体的には、Mycobacterium phlei JCM5865、Mycobacterium smegmatis
JCM5866、Mycobacterium thermoresistibile JCM6362、Mycobacterium neoaurum
JCM6365、Mycobacterium parafortuitum JCM6367、Mycobacterium gilvum JCM6395、
Rhodococcus globerulus ATCC25714、Rhodococcus equi ATCC21387、Rhodococcus equi ATCC7005、Rhodococcus erythropolis ATCC4277、Rhodococcus rhodochrous ATCC21430、Rhodococcus rhodochrous ATCC13808、Rhodococcus rhodnii ATCC35071、
Rhodococcus ruber JCM3205、Rhodococcus coprophilus ATCC29080、Rhodococcus fascians ATCC12974、Rhodococcus fascians ATCC35014、Gordona amarae ATCC27808、Gordona rubropertinctus IFM-33、Gordona rubropertinctus ATCC14352、Gordona bronchialis ATCC25592、Gordona sputi ATCC29627、Gordona aichiensis ATCC33611、

Gordona terrae ATCC25594、Gordona sp. ATCC19067、Corynebacterium glutamicum ATCC13032、Corynebacterium glutamicum ATCC14020、Corynebacterium glutamicum ATCC19240、Corynebacterium mycetoides ATCC21134、Corynebacterium variabilis ATCC15753、Corynebacterium ammoniagenes ATCC6872、Arthrobacter crystallopoietes ATCC15481、Arthrobacter duodecadis ATCC13347、Arthrobacter ramosus ATCC13727、Arthrobacter sulfureus ATCC19098、Arthrobacter aurescens ATCC13344、Arthrobacter citreus ATCC11624、Arthrobacter globiformis ATCC8010、Brevibacterium acetylicum ATCC953、Brevibacterium linens ATCC19391、Brevibacterium linens ATCC9172、Brevibacterium incertum ATCC8363、Brevibacterium iodinum IF03558、Micrococcus luteus ATCC4698、Micrococcus roseus ATCC186、Cellulomonas cellulans ATCC15921、Cellulomonas cartae ATCC21681、Sphingomonas paucimobilis ATCC29837、Sphingomonas adhaesiva JCM7370、Sphingomonas terrae ATCC15098、およびGordona sp. ATCC19067等かあげ

また、これらの微生物の継代培養体、突然変異体もしくは誘導体、遺伝子組換え 技術により製造した組み換え体等も用いられる。

本願発明に用いられる微生物の培養に用いられる培地は、本願発明の微生物が資化することができる炭素源、窒素源、無機塩類等を含有し、本願発明の微生物の培養を効率的に行える培地であれば、天然培地、合成培地のいずれでも用いられる。

培地中の炭素源の具体例としては、例えば、グルコース、フラクトース、グリセロール、マルトース、スターチ、サッカロース等の炭水化物、酢酸、クエン酸等の有機酸、糖蜜等があげられる。

窒素源の具体例としては、アンモニア、塩化アンモニウム、硫酸アンモニウム、酢酸アンモニウム、硝酸アンモニウム、リン酸アンモニウム等の各種無機酸や有機酸のアンモニウム塩、ペプトン、肉エキス、コーンスティープリカー、カゼイン加水分解物、大豆ミール、綿実かす、魚ミール、各種発酵菌体およびその消化物等があげられる。

無機物の具体例としては、リン酸第一カリウム、リン酸第二カリウム、リン酸マグネシウム、硫酸マグネシウム、塩化ナトリウム、硫酸第一鉄、硫酸マンガン、硫

酸銅、炭酸カルシウム等があげられる。

また必要に応じてチアミン、ビオチン等のビタミン類、グルタミン酸、アスパラギン酸等のアミノ酸、アデニン、グアニン等の核酸関連物質を添加してもよい。

本願発明に用いられる微生物の培養は、振とう培養、通気撹拌培養等の好気的条件下で行うことが好ましい。通気撹拌培養の場合は、発泡を防ぐため消泡剤を適量添加するのが好ましい。培養は通常 $20\sim50$ °C、好ましくは $25\sim40$ °Cで、 $6\sim120$ 時間行う。培養中pHは $5.0\sim10.0$ 、好ましくは $6.0\sim8.5$ に保持する。pH調整は無機酸或いは有機酸、アルカリ溶液、尿素、炭酸カルシウム、アンモニア等を用いて行う。

このようにして得られる微生物の培養物の処理物としては、培養菌体、該菌体の 乾燥物、該菌体の凍結乾燥物、該菌体の界面活性剤処理物、該菌体の酵素処理物、 該菌体の超音波処理物、該菌体の機械的摩砕物、該菌体の溶媒処理物等の菌体処理 物、菌体の蛋白分画物、菌体および菌体処理物の固定化物等があげられる。

化合物(I-a)または化合物(I-b)から化合物(II-a)または化合物(II-b)への変換方法は、微生物を培養する培地に予め化合物(I-a)または化合物(I-b)を添加する方法を用いてもよいし、培養中に化合物(I-a)または化合物(I-b)を添加する方法を用いてもよい。また、酵素源を化合物(I-a)または化合物(I-b)に水性媒体中で作用させる方法を用いてもよい。

化合物(I-a)または化合物(I-b)を微生物を培養する培地中に添加する場合、化合物(I-a)または化合物(I-b)は培地1mlあたり $0.1\sim10$ mg好ましくは $0.2\sim1$ mgを培養の初発または途中に添加する。化合物(I-a)または化合物(I-b)を添加する際、化合物(I-a)または化合物(I-b)をメチルアルコール、エチルアルコール等の溶媒に溶解して添加してもよい。

酵素源を、化合物(I-a)または化合物(I-b)に水性媒体中で作用させる方法を用いる場合、用いる酵素の量は、当該酵素源の比活性等により異なる。例えば、酵素源として微生物の培養物もしくは該培養物の処理物を用いる場合は、酵素源を化合物(I-a)または化合物(I-b)のImgあたり $5\sim1000$ mg、好ましくは $10\sim400$ mg添加する。反応は水性媒体中 $20\sim50$ %でで行うことが好ましく、特に $25\sim40$ %でで行うことが好ましい。反応時間は用いる酵素源の量および比活性等により異なるが、通常 $0.5\sim150$ 時間、好ましくは $1\sim72$ 時間である。

水性媒体としては、水、リン酸緩衝液、HEPES(N-2ヒドロキシエチルピペラジン-N-エタンスルホン酸)緩衝液、トリス[トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン]塩酸緩衝液等の緩衝液があげられる。反応を阻害しなければ該緩衝液に有機溶媒を添加してもよい。有機溶媒としては、アセトン、酢酸エチル、ジメチルスルホキシド、キシレン、メチルアルコール、エチルアルコール、ブタノール等があげられる。有機溶媒と水性媒体との混合液は、化合物(I-b)を用いる場合好ましく用いられる。

上記製造方法により、化合物(I-a)から化合物(II-a)または化合物(II-a)と化合物(II-b)の混合物を得ることができる。

また、同様に、化合物(I-b)から化合物(II-b)または化合物(II-a)と化合物(II-b)の混合物を得ることができる。

さらに、化合物(I-a)と化合物(I-b)の混合物から、化合物(II-a)と化合物(II-b) の混合物を得ることもできる。

化合物(I-b)および化合物(II-b)は下記に例示するラクトンの開環方法により、容易に化合物(I-a)および化合物(II-a)にそれぞれ変換することができる。また化合物(I-a)および化合物(II-a)は下記に例示するラクトンの生成方法により、容易に化合物(I-b)および化合物(II-b)にそれぞれ変換することができる。

ラクトンの開環方法としては、化合物(I-b)または化合物(II-b)を水性媒体に溶解し、酸またはアルカリを添加する方法があげられる。水性媒体としては、例えば水、リン酸緩衝液、トリス緩衝液等反応を阻害しない塩類を含む水溶液があげられる。該水溶液中には、反応を阻害しない濃度のメタノール、エタノール、酢酸エチル等の有機溶媒を含んでいてもよい。酸としては酢酸、塩酸、硫酸等の酸が挙げられ、アルカリとしては、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、アンモニア等があげられる。

ラクトンの生成方法としては、化合物(I-a)または化合物(II-a)を非水系の溶媒に溶解し、酸または塩基触媒を添加する方法があげられる。非水系の溶媒としては実質的に水を含まない有機溶媒で化合物(I-a)または化合物(II-a)を溶解できるものならばいかなるものでも用いることができる。

非水系の溶媒としては、例えば、ジクロロメタン、酢酸エチル等があげられる。 触媒としては、ラクトン化反応を触媒し、基質や反応産物にラクトン化以外の作用 を及ぼさないものならば、どのようなものでも用いることができる。該触媒としては、例えば、トリフルオロ酢酸やパラトルエンスルホン酸等があげられる。反応温度は特に制限はないが、 $0\sim100$ °Cが好ましく、 $20\sim80$ °Cが特に好ましい。

反応終了後の上記溶液からの化合物(II-a)または化合物(II-b)の採取は、通常の有機合成化学で用いられる方法、例えば、有機溶媒による抽出、結晶化、薄層クロマトグラフィー、高速液体クロマトグラフィー等により行うことができる。

本願発明により得られる化合物(II-a)または化合物(II-b)の確認または定量方法は、化合物(II-a)および/または化合物(II-b)を確認または定量できる方法であれば、いずれの方法でも用いられる。例えば、 $^{13}$ C-NMRスペクトル、 $^{1}$ H-NMRスペクトル、 $^{1}$ ル、マススペクトル、高速液体クロマトグラフィー(HPLC)等の方法により行うことができる。

本発明において、化合物(I-a)、化合物(I-b)、化合物(II-a)および化合物(II-b)の中には、光学異性体等の立体異性体が存在し得るものもあるが、本発明は、これらを含め、全ての可能な異性体およびそれらの混合物を包含する。

化合物(I-a)としては、化合物(III-a)が好ましく、化合物(V-a)がより好ましく、化合物(VII-a)が特に好ましい。

化合物(I-b)としては、化合物(III-b)が好ましく、化合物(V-b)がより好ましく、 化合物(VII-b)が特に好ましい。

化合物(II-a)としては、化合物(IV-a)が好ましく、化合物(VI-a)がより好ましく、 化合物(VIII-a)が特に好ましい。

化合物(II-b)としては、化合物(IV-b)が好ましく、化合物(VI-b)がより好ましく、 化合物(VIII-b)が特に好ましい。

以下に本願発明の実施例を示すが、本願発明はこれらの実施例に限定されるものではない。

## 発明を実施するための最良の形態

#### 実施例1

・・化合物(VII-b)(シグマ社製) 100mgを9.5mlのメタフールに溶解した後、1mol/l水酸化ナトリウム0.5mlを加えて室温で1時間振盪した。得られた反応液を乾固し脱イオン水5mlを加えて溶解し1mol/l塩酸約0.1mlでpHを約6.5~7.5に調整し、さら

に脱イオン水4.9mlを加えることにより最終濃度が10mg/mlの化合物(VII-a)[一般式(VII-a)中 $R^1$ がナトリウムである化合物]を10ml得た。

第1および2表に示した各種微生物をそれぞれ寒天培地[ペプトン (極東製薬工業製) 1%、肉エキス (極東製薬工業製) 0.7%、NaCl 0.3%、酵母エキス (日本製薬社製) 0.2%、バクトアガー (ディフコ社製) 2%、 $1 \, \mathrm{mol/l}$  水酸化ナトリウムでpH7.2 に調整]に塗布し、第1および2表に表示した各温度で3日間培養した。寒天培地上に生育した菌株各々一白金耳をLB培地[バクトトリプトン (ディフコ社製) 1%、バクトイーストエキストラクト (ディフコ社製) 0.5%、 $1 \, \mathrm{mol/l}$  水酸化ナトリウムでpH7.2に調整]3mlを含む試験管に植菌し、第1および2表に示した各温度で24時間振盪培養した。培養後の培養液0.25mlをTB培地[バクトトリプトン (ディフコ社製) 1.4%、バクトイーストエキストラクト (ディフコ社製) 2.4%、 $KH_2PO_4$  0.231%、 $K_2HPO_4$  1.251%、 $1 \, \mathrm{mol/l}$  水酸化ナトリウムでpH 7.4に調整]5mlを含む試験管に植菌し、第1および2表に示した各温度で24時間振盪培養した。24時間後、上記で得られた化合物(VII-a)を終濃度が0.4mg/mlになるようにそれぞれの試験管に添加し、さらに48時間第1および2表に示した各温度で振盪して反応を行なった。

反応終了後、反応液を酢酸でpH3.5に調整した。この反応液0.5m1に酢酸エチル1m1を加え、1時間振盪した。振盪後、3000rpm、5分間の遠心分離によって反応液を2層に分け、上清の酢酸エチル層を回収し、遠心エバポレーターで溶媒を除去した後、残渣をメタノール0.5m1に溶解した。このメタノール溶液の一部を用いてHPLC分析 [カラム; Inertsil ODS- $2(5\mu m, 4x250mm, ジーエルサイエンス社製)、カラム温度;<math>60^{\circ}$ C、移動相;アセトニトリル:水:リン酸=55:45:0.05、流速:0.9m1/分、検出波長:237nm]を行ない、化合物(VIII-a)[一般式(VIII-a)中R1はナトリウムである化合物]の検出、定量を行なった。結果を第1および第2表に示す。

### 第 1 表

<b>遠株</b> 名		化合物(VIII-a)	培養温度
		mg/l	(°C)
Mycobacterium phlei	JCM 5865	1.6	37
Mycobacterium smegmatis	JCM 5866	0.4	37
Mycobacterium thermoresistibile	JCM 6362	9.1	37
Mycobacterium neoaurum	JCM 6365	3.7	37
Mycobacterium parafortuitum	JCM 6367	7.4	37
Mycobacterium gilvum	JCM 6395	9.6	37
Rhodococcus globerulus	ATCC25714	4.9	28
Rhodococcus equi	ATCC21387	2.5	30
Rhodococcus erythropolis	ATCC4277	1.4	30
Rhodococcus rhodochrous	ATCC21430	4.9	30
Rhodococcus equi	ATCC7005	1.4	30
Rhodococcus rhodochrous	ATCC13808	4.7	28
Rhodococcus rhodnii	ATCC35071	0.4	28
Rhodococcus ruber	JCM 3205	0.6	28
Rhodocuccus coprophilus	ATCC29080	5.6	28
Rhodococcus fascians	ATCC12974	1.3	28
Rhodococcus fascians	ATCC35014	5.2	30
Gordona amarae	ATCC27808	1.2	30
Gordona rubropertinctus	IFM-33	2.5	30
Gordona bronchialis	ATCC25592	0.9	28
Gordona rubropertinctus	ATCC14352	0.7	28
Gordona sputi	ATCC29627	0.3	28
Gordona aichiensis	ATCC33611	0.6	28
Gordona sp.	ATCC19067	4.0	30
Gordona terrae	ATCC25594	0.3	28



			Litrate in the
菌株名		化合物VIII-a	培養温度
Corynebacterium glutamicum	ATCC13032	(mg/1)	(C)
Corynebacterium glutamicum		1.1	30
	ATCC14020	0. 7	30
Corynebacterium glutamicum	ATCC19240	1.0	30
Corynebacterium mycetoides	ATCC21134	0. 3	30
Corynebacterium variabilis	ATCC15753	1.7	30
Corynebacterium ammoniagenes	ATCC6872	0. 6	30
Arthrobacter crystallopoietes	ATCC15481	0.5	30
Arthrobacter duodecadis	ATCC13347	0.7	30
Arthrobacter ramosus	ATCC13727	2.2	30
Arthrobacter sulfureus	ATCC19098	1.1	30
Arthrobacter aurescens	ATCC13344	1.3	30
Arthrobacter citreus	ATCC11624	1.2	30
Arthrobacter globiformis	ATCC8010	0.3	30
Brevibacterium acetylicum	ATCC953	0.4	30
Brevibacterium linens	ATCC19391	0.5	30
Brevibacterium linens	ATCC9172	0.6	30
Brevibacterium incertum	ATCC8363	0.5	30
Brevibacterium iodinum	IF03558	0.8	30
Micrococcus luteus	ATCC4698	0.5	30
Micrococcus roseus	ATCC186	0. 4	30
Cellulomonas cellulans	ATCC15921	0.7	30
Cellulomonas cartae	ATCC21681	0. 7	30
Sphingomonas paucimobilis	ATCC29837	3. 4	30
Sphingomonas adhaesiva	JCM 7370	2. 7	37
Sphingomonas terrae	ATCC15098	3. 1	30

#### 実施例2

Mycobacterium gilvum JCM 6395株を実施例 1 と同様の寒天培地に塗布し、37℃で3日間培養し、寒天培地上に生育した菌株をLB培地3mlを含む試験管4本に植菌して、37℃で24時間振盪培養した。この培養液1.25mlを25mlのTB培地を含む300ml容三角フラスコ8本に各々植菌し、37℃で振盪培養した。24時間後に実施例 1 と同様に調整した化合物(VII-a)[一般式(VII-a)中R」はナトリウムである化合物]を終濃度が0.4mg/mlになるように添加し、37℃で48時間振盪した。反応終了後、培養液を3000rpm、4℃で10分間遠心分離し上清を分取した。この上清液のpHを酢酸で3.5に

調整し、400mlの酢酸エチルを添加して30℃で1時間振盪した後静置し、上清を回収した。下層の水層に対して同じ操作を繰り返し、得られた酢酸エチル層を先の上清と合わせた。この酢酸エチル層に飽和食塩水100mlを添加して振盪後、上清を回収した。

次にこの上清に無水 $Na_2SO_4$ を5g添加して室温で15分間放置後、減圧により酢酸エチルを蒸発させ、乾固した。得られた残渣を脱イオン水5 mlに溶解して水酸化ナトリウムでpHを9.0に調整し、50mlのHP-20カラム(25x100mm、三菱化学社製)に通塔した。カラムは150mlの脱イオン水で洗浄したあと、アセトン含量20%、30%、40%のアセトン水溶液100mlで段階的に溶出した。分取した画分は実施例1と同様のHPLC分析を行い、化合物(VIII-a)を含む画分を回収した。減圧下でこの画分からアセトニトリルを除去し、1 mol/1塩酸で溶液のpHを3.0に調整した。この溶液に360mlの酢酸エチルを添加して振盪し、静置後上清を回収した。この上清に飽和食塩水90mlを添加し振盪、静置後、上清を回収した。

次にこの上清に無水 $Na_2SO_4$ を4.5g添加して室温で15分間おいた後、減圧乾固した。得られた乾固物をジクロロメタンに溶解し、1%トリフルオロ酢酸を加えてラクトン化した。この反応物を分取用TLC[シリカゲル板;No.1.05744(200x200mm, 0.5mm厚)MERCK社製、展開溶媒;酢酸エチル、発色液;12.5%リンモリブデン酸・1%セリウム/10%硫酸溶液]を用いて分画し、化合物(VIII-b) 0.8mgが得られた。得られた化合物(VIII-b)のマススペクトルおよび $^{\circ}H-NMR$ スペクトル分析結果は以下の通りである。

#### マススペクトル

日本電子製JMS-HX/HX110A質量分析計を用い、マトリックスにm-ニトロベンジルアルコールを使用してボジティブモードで測定した。その結果、m/z 407に擬似分子イオンピーク([M+H]<sup>+</sup>)を与え、化合物(II-b)の構造および分子量(406)から期待される数値に一致した。

#### <sup>l</sup>H-NMRスペクトル

日本電子製JNM-α400型スペクトロメータを用い、重クロロホルム中、内部標準 にTMSを使用し400MHzで測定した。その結果を以下に示す。このスペクトルデータ は化合物(VIII-b)の公知のデータ[三共研究所年報、37、147(1985)]と一致した。  $\delta$  ppm(CDCl<sub>3</sub>):6.01(1H, d,J=9.5Hz), 5.89(1H, dd,J=9.5, 5.9Hz), 5.58(1H, m), 5.41(1H, m), 4.60(1H, ddd,J=10.6, 7.3, 5.4, 2.8Hz), 4.40(1H, m), 4.38(1H, m), 2.74(1H, dd,J=13.1, 6.0, 4.8, 1.5Hz), 2.40(1H, m), 2.36(1H, m), 2.34(1H, m), 1.95(1H, dddd, J=14.4, 3.7, 2.9, 1.7Hz), 1.86(1H, dddd, J=12.5, 12.3, 7.3, 4.3Hz), 1.69(1H, m), 1.68(1H, m), 1.64(1H, m), 1.57(1H, m), 1.5~1.4(2H, m), 1.43(1h, m), 1.30(1H, m), 1.12(3H, d, J=6.8Hz), 0.91(3H, d, J=7.1Hz), 0.89(3H, t, J=7.4Hz)

#### 産業上の利用可能性

本願発明によりHMG-CoAレダクターゼを阻害し、血清コレステロールの低下作用等を有する化合物を効率よく製造することができる。

#### 請求の範囲

#### 1. 一般式(I-a)

$$R^{1}OOC$$
 OH HO (I-a)

(式中、 $R^1$ は水素原子、置換もしくは非置換のアルキルまたはアルカリ金属を表し、 $R^2$ は置換もしくは非置換のアルキルまたは置換もしくは非置換のアリールを表す)で表される化合物 [以下、化合物(I-a)という] または一般式(I-b)

$$R^2$$
 (I-b)

(式中、 $R^2$ は前記と同義)で表される、化合物(I-a)のラクトン体 [以下、化合物(I-b)という]から、一般式(I-a)

(式中、 $R^1$ および $R^2$ は前記と同義)で表される化合物 [以下、化合物(II-a)という] または一般式(II-b)

(式中、R²は前記と同義)で表される、化合物(II-a)のラクトン体 [以下、化合物(II-b)という]を生成する活性を有し、かつ胞子形成能を有さず菌糸状に生育しない微生物、該微生物の培養物または該培養物の処理物を酵素源として用い、化合物(I-a)または化合物(I-b)を水性媒体中に存在せしめ、該水性媒体中に化合物(II-a)または化合物(II-b)を生成、蓄積させ、該水性媒体から化合物(II-a)または化合物(II-b)の製造法。

#### 2. 化合物(I-a)が一般式(III-a)

(式中、 $R^1$ は水素原子、置換もしくは非置換のアルキルまたはアルカリ金属を表し、 $R^2$ は置換もしくは非置換のアルキルまたは置換もしくは非置換のアリールを表す)で表される化合物[以下化合物(III-a)という]であり、化合物(I-b)が一般式(III-b)

(式中、 $R^2$ は前記と同義)で表される化合物[以下、化合物(III-b)という]であり、化合物(II-a)が一般式(IV-a)

(式中、 $R^1$ および $R^2$ は前記と同義)で表される化合物[以下、化合物(IV-a)という] であり、化合物(II-b)が一般式(IV-b)

(式中、 $R^2$ は前記と同義)で表される化合物[以下、化合物(IV-b)という]である、請求項1記載の製造法。

## 3. 化合物(I-a)が一般式(V-a)

(式中、 $R^1$ は水素原子、置換もしくは非置換のアルキルまたはアルカリ金属を表す)で表される化合物 [以下、化合物(V-a)という] であり、化合物(I-b)が一般式 (V-b)

で表される化合物[以下、化合物(V-b)という]であり、化合物(II-a)が一般式(VI-a)

(式中、 $R^1$ は前記と同義)で表される化合物 [以下、化合物(VI-a)という] であり、化合物(II-b)が一般式(VI-b)

で表される化合物 [以下、化合物(VI-b)という] である、請求項1記載の製造法。

#### 4. 化合物(I-a)が一般式(VII-a)

(式中、 $R^1$ は水素原子、置換もしくは非置換のアルキルまたはアルカリ金属を表す)で表される化合物 [以下、化合物(VII-a)という] であり、化合物(I-b)が一般式(VII-b)

で表される化合物 [以下、化合物(VII-b)という] であり、化合物(II-a)が一般式 (VIII-a)

(式中、R'は前記と同義)で表される化合物 [以下、化合物(VIII-a)という] であり、化合物(II-b)が一般式(VIII-b)

で表される化合物 [以下、化合物(VIII-b)という] である、請求項 1 記載の製造法。

- 5. 微生物の培養物の処理物が、培養菌体、該菌体の乾燥物、該菌体の凍結乾燥物、該菌体の界面活性剤処理物、該菌体の酵素処理物、該菌体の超音波処理物、該菌体の機械的摩砕物、該菌体の溶媒処理物等の菌体処理物、菌体の蛋白分画物、菌体および菌体処理物の固定化物から選ばれる処理物である、請求項1記載の製造法。
- 6. 微生物が、Mycobacterium属、Corynebacterium属、Brevibacterium属、Rhodococcus属、Gordona属、Arthrobacter属、Micrococcus属、Cellulomonas属、およびSphingomonas属に属する微生物から選ばれる微生物である、請求項1記載の製造法。

- 7. 微生物がMycobacterium phlei、Mycobacterium smegmatis、Mycobacterium thermoresistibile, Mycobacterium neoaurum, Mycobacterium parafortuitum, Mycobacterium gilvum, Rhodococcus globerulus, Rhodococcus equi, Rhodococcus erythropolis, Rhodococcus rhodochrous, Rhodococcus rhodnii, Rhodococcus ruber, Rhodococcus coprophilus, Rhodococcus fascians, Gordona amarae, Gordona rubropertinctus, Gordona bronchialis, Gordona sputi, Gordona aichiensis, Gordona terrae, Corynebacterium glutamicum, Corynebacterium mycetoides, Corynebacterium variabilis, Corynebacterium ammoniagenes, Arthrobacter crystallopoietes, Arthrobacter duodecadis, Arthrobacter ramosus, Arthrobacter sulfureus, Arthrobacter aurescens, Arthrobacter citreus, Arthrobacter globiformis, Brevibacterium acetylicum, Brevibacterium linens, Brevibacterium incertum, Brevibacterium iodinum, Micrococcus luteus, Micrococcus roseus, Cellulomonas cellulans, Cellulomonas cartae, Sphingomonas paucimobilis, Sphingomonas adhaesiva、およびSphingomonas terraeから選ばれる微生物である、 請求項1記載の製造法。
- 8. 微生物がMycobacterium phlei JCM5865、Mycobacterium smegmatis JCM5866、Mycobacterium thermoresistibile JCM6362、Mycobacterium neoaurum JCM6365、Mycobacterium parafortuitum JCM6367、Mycobacterium gilvum JCM6395、Rhodococcus globerulus ATCC25714、Rhodococcus equi ATCC21387、Rhodococcus equi ATCC21387、Rhodococcus erythropolis ATCC4277、Rhodococcus rhodochrous ATCC21430、Rhodococcus rhodochrous ATCC13808、Rhodococcus rhodonii ATCC35071、Rhodococcus ruber JCM3205、Rhodococcus coprophilus ATCC29080、Rhodococcus fascians ATCC12974、Rhodococcus fascians ATCC35014、Gordona amarae ATCC27808、Gordona rubropertinctus IFM-33、Gordona rubropertinctus ATCC14352、Gordona bronchialis ATCC25592、Gordona sputi ATCC29627、Gordona aichiensis ATCC33611、Gordona terrae ATCC25594、Corynebacterium glutamicum ATCC13032、Corynebacterium glutamicum ATCC19240、Corynebacterium glutamicum ATCC19240、Corynebacterium mycetoides ATCC21134、Corynebacterium variabilis ATCC15753、Corynebacterium mycetoides ATCC21134、Corynebacterium variabilis ATCC15753、Corynebacterium ammoniagenes ATCC6872、Arthrobacter crystallopoietes

ATCC15481、Arthrobacter duodecadis ATCC13347、Arthrobacter ramosus ATCC13727、Arthrobacter sulfureus ATCC19098、Arthrobacter aurescens ATCC13344、Arthrobacter citreus ATCC11624、Arthrobacter globiformis ATCC8010、Brevibacterium acetylicum ATCC953、Brevibacterium linens ATCC19391、Brevibacterium linens ATCC9172、Brevibacterium incertum ATCC8363、Brevibacterium iodinum IF03558、Micrococcus luteus ATCC4698、Micrococcus roseus ATCC186、Cellulomonas cellulans ATCC15921、Cellulomonas cartae ATCC21681、Sphingomonas paucimobilis ATCC29837、Sphingomonas adhaesiva JCM7370、およびSphingomonas terrae ATCC15098から選ばれる微生物である、請求項1記載の製造法。

9. 微生物がGordona sp. ATCC19067である、請求項1記載の製造法。



International application No.

PCT/JP00/00245

4 CLASS	TELO A TION OF OUR RECTENCED				
A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER Int.Cl <sup>7</sup> Cl2P 7/62, Cl2P 17/06 // (Cl2P 7/62, Cl2R 1:32), (Cl2P 7/62, Cl2R					
1:15	5), (C12P 7/62, C12R 1:13), (C12P	7/62, C12R 1:01), (C12P 7	/62, C12R 1:06),		
(C12	3P 7/62, Cl2R 1:265), (Cl2P 7/62	2, C12R 1:34)			
	o International Patent Classification (IPC) or to both n	ational classification and IPC			
	S SEARCHED				
Int.	ocumentation searched (classification system followed C1 <sup>7</sup> C12P 7/62, C12P 17/06	by classification symbols)			
=	0121 7,02, 0121 1,,00				
Documentat	ion searched other than minimum documentation to th	e extent that such documents are included	in the fields searched		
Electronic d	ata base consulted during the international search (nan	ne of data base and, where practicable, sea	rch terms used)		
REGI	STRY (STN), CA (STN)	-			
C. DOCUI	MENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT				
Category*	Citation of document, with indication, where a	ppropriate of the relevant passages	Relevant to claim No.		
		phophase, of the reservant puscages	Relevant to claim 146.		
P,X	WO, 99/07872, A1 (KYOWA HAKKO	KOGYO CO., LTD.),	1-5		
	18 February, 1999 (18.02.99)				
	& AU, 9884606, A				
P,X	WO, 99/10499, A1 (GIST-BROCADE	S RV).	1-5		
,	04 March, 1999 (04.03.99)	3 50,,	<b>1</b> – <b>3</b>		
	& AU, 9892645, A				
A	SERIZAWA, N. et al. "Biochemical		1 0		
**	for production of pravastatin,	and motecutar approaches	1-9		
	cholesterol-loweringdrug", Biot	echnol. Annu. Rev. (1996)			
	Vol.2, p.373-389				
Ì					
Further	documents are listed in the continuation of Box C.	See patent family annex.			
* Special	categories of cited documents:	"T" later document published after the inter	mational filing date or		
	ent defining the general state of the art which is not red to be of particular relevance	priority date and not in conflict with the	e application but cited to		
"E" earlier of	locument but published on or after the international filing	understand the principle or theory unde "X" document of particular relevance; the c			
date "L" docume	nt which may throw doubts on priority claim(s) or which is	considered novel or cannot be consider	ed to involve an inventive		
cited to	ted to establish the publication date of another citation or other "Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be				
"O" docume	pecial reason (as specified)  considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such				
means		combination being obvious to a person	skilled in the art		
"P" document published prior to the international filing date but later "&" document member of the same patent family than the priority date claimed					
Date of the a	ctual completion of the international search	Date of mailing of the international search report			
21 M	arch, 2000 (21.03.00)	25 April, 2000 (25.0	4.00)		
Name and mailing address of the ISA/		Authorized officer			
Japa	nese Patent Office				
Facsimile No	).	Telephone No.			
		piioio 110.			

THIS PAGE BLANK (USPTO)

#### 国際調査報告

国際出願番号 PCT/JP00/00245

Α.	発明の属する分野の分類	(国際特許分類	(IPC)	)

Int. C1<sup>7</sup> C12P 7/62, C12P 17/06 // (C12P 7/62, C12R 1:32), (C12P 7/62, C12R 1:15), (C12P 7/62, C12R 1:13), (C12P 7/62, C12R 1:01), (C12P 7/62, C12R 1:06), (C12P 7/62, C12R 1:265), (C12P 7/62, C12R 1:34)

#### B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料 (国際特許分類 (IPC))

Int. Cl7 C12P 7/62, C12P 17/06

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

国際調査で使用した電子データベース (データベースの名称、調査に使用した用語)

REGISTRY (STN), CA (STN)

C. 関連すると認められる文献				
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求の範囲の番号		
P, X	₩0,99/07872,A1 (協和醗酵工業株式会社) 18.2月.1999(18.02.99) & AU,9884606,A	1-5		
P, X	WO, 99/10499, A1 (GIST-BROCADES BV) 4.3月.1999(04.03.99) & AU, 9892645, A	1-5		
A	SERIZAWA, N. et al. "Biochemical and molecular approaches for production of pravastatin, a potent cholesterol-lowering drug", Biotechnol. Annu. Rev. (1996) Vol. 2, p. 373-389	1-9		

#### □ C欄の続きにも文献が列挙されている。

□ パテントファミリーに関する別紙を参照。

- \* 引用文献のカテゴリー
- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す もの
- 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献(理由を付す)
- 「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

- の日の後に公表された文献
- 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって て出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理 論の理解のために引用するもの
- 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの
- 「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

21.03.00

国際調査報告の発送日

04.04.00

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP)

郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官(権限のある職員) 高堀 栄二



4B | 9281

電話番号 03-3581-1101 内線 3448

THIS PAGE BLANK (USPTO)

PCT



EP

## 国際調査報告

(法8条、法施行規則第40、41条) [PCT18条、PCT規則43、44]

出願人又は代理人 の書類記号 1179	今後の手続きについては、国際調査報告の送付通知様式(PCT/ISA/220) 及び下記5を参照すること。				
国際出願番号 PCT/JP00/00245	国際出願日 (日.月.年) 20.0	1.00	優先日 (日.月.年)	20.01.99	
出願人 (氏名又は名称) 協和額	萨工業株式会社				
国際調査機関が作成したこの国際調 この写しは国際事務局にも送付され		€ (PCT1 <sup>'</sup> 8 <i>\$</i>	<b>た)の規定に従い</b>	出願人に送付する。	
この国際調査報告は、全部で 2	ページである。			,	
この調査報告に引用された先行	技術文献の写しも添付され	<b>にている。</b>		· :	
1. 国際調査報告の基礎 a. 言語は、下記に示す場合を除 □ この国際調査機関に提出さ				った。	
b. この国際出願は、ヌクレオチ □ この国際出願に含まれる書		でおり、次の酢	己列表に基づき国	際調査を行った。	
□ この国際出願と共に提出さ	れたフレキシブルディス	クによる配列表			
出願後に、この国際調査機	<b>関に提出された書面によ</b>	る配列表			
□ 出願後に、この国際調査機					
出願後に提出した書面によ 書の提出があった。	る配列表が出願時におけ	る国際出願の開:	示の範囲を超える	る事項を含まない旨の陳述	
■ 事面による配列表に記載し 事の提出があった。	た配列とフレキシブルデ	ィスクによる配	列表に記録した配	記列が同一である旨の陳述	
2. 請求の範囲の一部の調査	ができない (第1欄参照)	•			
3.	いる(第Ⅱ欄参照)。				
   4. 発明の名称は × 出	<b>頼人が提出したものを承認</b>	<b>まする。</b>			
□ 次	に示すように国際調査機関	引が作成した。			
_			·	·	
5. 要約は 🗵 出	頼人が提出したものを承認	<b>まする。</b>			
<u> </u>		は願人は、この国	国際調査報告の発	則38.2(b)) の規定により 送の日から1カ月以内にこ	
6. 要約書とともに公表される図は 第 図とする。 □ 出		) <sub>o</sub>		J	
] ш	願人は図を示さなかった。		٠.	•=	
	図は発明の特徴を一層よく	表している。	,		

# THIS PAGE BLANK (USPTO)



Α.	発明の属する分野の分類	(国際特許分類	(IPC)	)
----	-------------	---------	-------	---

Int. Cl<sup>7</sup> Cl2P 7/62, Cl2P 17/06 // (Cl2P 7/62, Cl2R 1:32), (Cl2P 7/62, Cl2R 1:15), (Cl2P 7/62, Cl2R 1:13). (C12P 7/62, C12R 1:01), (C12P 7/62, C12R 1:06), (C12P 7/62, C12R 1:265), (C12P 7/62, C12R 1:34)

国際出願番

#### 調査を行った分野

調査を行った最小限資料(国際特許分類(IPC))

Int. C17 C12P 7/62, C12P 17/06

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

国際調査で使用した電子データベース(データベースの名称、調査に使用した用語)

REGISTRY (STN), CA (STN)

引用文献の		関連する
カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	請求の範囲の番号
Р, Х	WO, 99/07872, A1(協和醗酵工業株式会社)18.2月.1999(18.02.99) & AU, 9884606, A	1-5
P, X	WO, 99/10499, A1 (GIST-BROCADES BV) 4.3月.1999(04.03.99) & AU, 9892645, A	1-5
A	SERIZAWA, N. et al. "Biochemical and molecular approaches for production of pravastatin, a potent cholesterol-lowering drug", Biotechnol. Annu. Rev. (1996) Vol. 2, p. 373-389	1-9
□ C欄の続き	きにも文献が列挙されている。	別紙を参照。

#### \* 引用文献のカテゴリー

- 「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示す
- 「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日 以後に公表されたもの
- 「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行 日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する 文献 (理由を付す)
- 「O」ロ頭による開示、使用、展示等に言及する文献
- 「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

- 「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって て出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理 論の理解のために引用するもの
- 「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明 の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
- 「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の1以 上の文献との、当業者にとって自明である組合せに よって進歩性がないと考えられるもの
- 「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

21.03.00

国際調査報告の発送日

04.04.00

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915

東京都千代田区霞が関三丁目4番3号

特許庁審査官(権限のある職員) 高堀 栄二



9281 4 B

電話番号 03-3581-1101 内線 3448

### 明細書

### HMG-СοΑレダクターゼ阻害剤の製造法

### 技術分野

本願発明はヒドロキシメチルグルタリルCoA(HMG-CoA)レダクターゼを阻害し、血清コレステロールの低下作用を有する化合物の製造法に関する。 背景技術

### 一般式(VI-a)

(式中、 $R^1$ は水素原子またはアルカリ金属を表す)で表される化合物 [以下、化合物(VI-a)という] または一般式(VI-b)

で表される、化合物(VI-a)のラクトン体 [以下、化合物(VI-b)という] は、HMG - C o A  $\nu$  ダクターゼを阻害し、血清コレステロールの低下作用等を示すことが知られている [ザ・ジャーナル・オブ・アンチビオチクス (The Journal of Antibiotics, 29, 1346(1976)]。

微生物によって、一般式(V-a)

## THIS PAGE BLANK (USPID,

(式中、 $R^1$ は水素原子またはアルカリ金属を表す)で表される化合物 [以下、化合物(V-a)という] または一般式(V-b)

で表される、化合物(V-a)のラクトン体 [以下、化合物(V-b)とういう] から化合物 (VI-a)または化合物(VI-b)を生成する方法に関しては既に幾つかの報告がある。

即ち、特開昭57-50894には糸状菌を用いる方法が、特開平7-184670およびW096/40863には放線菌を用いる方法が、また特許第2672551号には遺伝子組換え放線菌を使用した方法が述べられている。しかし、よく知られているように糸状菌や放線菌は菌糸を伸ばして成長するため、発酵槽で増殖させると培養液の粘度が上昇する。このため培養液中の酸素が不足しやすく、また培養液が不均一になるため反応効率が低下しやすい。この酸素不足を解消し、培養液を均一に保つためには、発酵槽の撹拌速度を上げなければならないが、撹拌速度を上げると菌糸が剪断され、微生物の活性が低下しやすい[発酵工学の基礎、p169~190, P.F. Stansbury, A. Whitaker著、学会出版センター(1988)]。

さらに、上記放線菌および糸状菌はいずれも胞子を形成する能力を有する。胞子は菌体に比べはるかに飛散しやすい上、栄養細胞が容易に死滅するような条件下でも生存できる能力があるため、培養、精製工程での微生物汚染源となりやすい。

### 発明の開示

本願発明の目的は、HMG-СοAレダクターゼを阻害し、血清コレステロール

の低下作用等を有する化合物の工業的に有利な製造法を提供することにある。

本願発明者らは、水酸化活性を有し、かつ胞子形成能を有さず菌糸状に生育しない微生物により化合物(V-a)または化合物(V-b)の水酸化を行うことができれば、胞子飛散による製造工程での微生物汚染や菌糸形成による培養液の不均一化にともなう反応効率の低下等の不都合を回避でき、工業的に有利であると考え、鋭意検討した結果、本願発明を完成するに至った。

即ち、本願の発明は、以下(1)~(9)に関する。

以下、特に断らない限り、一般式中でR<sup>1</sup>は水素原子、置換もしくは非置換のアルキルまたはアルカリ金属を表し、R<sup>2</sup>は置換もしくは非置換のアルキルまたは置換もしくは非置換のアリールを表す。

#### (1) 一般式 (I-a)

$$R^{1}OOC$$
 OH  $R^{2}$  (I-a)

で表される化合物「以下、化合物 (I-a)という〕または一般式 (I-b)

$$R^2$$
 OH (I-b)

で表される、化合物(I-a)のラクトン体 [以下、化合物(I-b)という] から、一般式 (II-a)

で表される化合物 [以下、化合物(II-a)という] または一般式(II-b)

$$R^2$$
 OH (II-b)

で表される、化合物(II-a)のラクトン体 [以下、化合物(II-b)という] を生成する 活性を有し、かつ胞子形成能を有さず菌糸状に生育しない微生物、該微生物の培養 物または該培養物の処理物を酵素源として用い、化合物(I-a)または化合物(I-b) を水性媒体中に存在せしめ、該水性媒体中に化合物(II-a)または化合物(II-b)を生 成、蓄積させ、該水性媒体から化合物(II-a)または化合物(II-b)を採取することを 特徴とする、化合物(II-a)または化合物(II-b)の製造法。

### (2) 化合物(I-a)が一般式(III-a)

で表される化合物[以下化合物(III-a)という]であり、化合物(I-b)が一般式(III-b)

で表される化合物[以下、化合物(III-b)という]であり、化合物(II-a)が一般式 (IV-a)

で表される化合物[以下、化合物(IV-a)という]であり、化合物(II-b)が一般式 (IV-b)

で表される化合物[以下、化合物(IV-b)という]である、上記(1)の製造法。

### (3) 化合物(I-a)が一般式(V-a)

で表される化合物 [以下、化合物(V-a)という] であり、化合物(I-b)が一般式(V-b)

で表される化合物[以下、化合物(V-b)という]であり、化合物(II-a)が一般式(VI-a)

で表される化合物 [以下、化合物(VI-a)という] であり、化合物(II-b)が一般式 (VI-b)

で表される化合物 [以下、化合物(VI-b)という] である、上記(1)の製造法。

### (4) 化合物(I-a)が一般式(VII-a)

で表される化合物 [以下、化合物(VII-a)という] であり、化合物(I-b)が一般式 (VII-b)

で表される化合物 [以下、化合物(VII-b)という] であり、化合物(II-a)が一般式 (VIII-a)

で表される化合物 [以下、化合物(VIII-a)という] であり、化合物(II-b)が一般式 (VIII-b)

で表される化合物 [以下、化合物(VIII-b)という] である、上記(1)の製造法。

- (5)微生物の培養物の処理物が、培養菌体、該菌体の乾燥物、該菌体の凍結乾燥物、該菌体の界面活性剤処理物、該菌体の酵素処理物、該菌体の超音波処理物、該菌体の機械的摩砕物、該菌体の溶媒処理物等の菌体処理物、菌体の蛋白分画物、菌体および菌体処理物の固定化物から選ばれる処理物である、上記(1)の製造法。
- (6) 微生物が、Mycobacterium属、Corynebacterium属、Brevibacterium属、Bhodococcus属、Gordona属、Arthrobacter属、Micrococcus属、Cellulomonas属、およびSphingomonas属に属する微生物から選ばれる微生物である、上記(1)の製造法。

(7) 微生物がMycobacterium phlei、Mycobacterium smegmatis、Mycobacterium thermoresistibile、Mycobacterium neoaurum、Mycobacterium parafortuitum、Mycobacterium gilvum、Rhodococcus globerulus、Rhodococcus equi、Rhodococcus erythropolis、Rhodococcus rhodochrous、Rhodococcus rhodnii、Rhodococcus ruber、Rhodococcus coprophilus、Rhodococcus fascians、Gordona amarae、Gordona rubropertinctus、Gordona bronchialis、Gordona sputi、Gordona aichiensis、Gordona terrae、Corynebacterium glutamicum、Corynebacterium mycetoides、Corynebacterium variabilis、Corynebacterium ammoniagenes、Arthrobacter crystallopoietes、Arthrobacter duodecadis、Arthrobacter ramosus、Arthrobacter sulfureus、Arthrobacter aurescens、Arthrobacter citreus、Arthrobacter globiformis、Brevibacterium acetylicum、Brevibacterium linens、Brevibacterium incertum、Brevibacterium iodinum、Micrococcus luteus、Micrococcus roseus、Cellulomonas cellulans、Cellulomonas cartae、Sphingomonas paucimobilis、Sphingomonas adhaesiva、およびSphingomonas terraeから選ばれる微生物である、上記(1)の製造法。

(8) 微生物がMycobacterium phlei JCM5865、Mycobacterium smegmatis JCM5866、

Mycobacterium thermoresistibile JCM6362, Mycobacterium neoaurum JCM6365, Mycobacterium parafortuitum JCM6367, Mycobacterium gilvum

JCM6395, Rhodococcus globerulus ATCC25714, Rhodococcus equi ATCC21387, Rhodococcus equi ATCC7005, Rhodococcus erythropolis ATCC4277, Rhodococcus rhodochrous ATCC21430, Rhodococcus rhodochrous ATCC13808, Rhodococcus rhodnii ATCC35071, Rhodococcus ruber JCM3205, Rhodococcus coprophilus ATCC29080, Rhodococcus fascians ATCC12974, Rhodococcus fascians ATCC35014, Gordona amarae ATCC27808, Gordona rubropertinctus IFM-33, Gordona rubropertinctus ATCC14352, Gordona bronchialis ATCC25592, Gordona sputi ATCC29627, Gordona aichiensis ATCC33611, Gordona terrae ATCC25594, Corynebacterium glutamicum ATCC13032, Corynebacterium glutamicum ATCC19240, Corynebacterium glutamicum ATCC19240, Corynebacterium glutamicum ATCC19240, Corynebacterium mycetoides ATCC21134, Corynebacterium variabilis ATCC15753, Corynebacterium ammoniagenes ATCC6872,

Arthrobacter crystallopoietes ATCC15481、Arthrobacter duodecadis ATCC13347、Arthrobacter ramosus ATCC13727、Arthrobacter sulfureus ATCC19098、Arthrobacter aurescens ATCC13344、Arthrobacter citreus ATCC11624、Arthrobacter globiformis ATCC8010、Brevibacterium acetylicum ATCC953、Brevibacterium linens ATCC19391、Brevibacterium linens ATCC9172、Brevibacterium incertum ATCC8363、Brevibacterium iodinum IF03558、Micrococcus luteus ATCC4698、Micrococcus roseus ATCC186、Cellulomonas cellulans ATCC15921、Cellulomonas cartae ATCC21681、Sphingomonas paucimobilis ATCC29837、Sphingomonas adhaesiva JCM7370、およびSphingomonas terrae ATCC15098から選ばれる微生物である、上記(1)の製造法。

(9) 微生物がGordona sp. ATCC19067である、上記(1)の製造法。

以下、本願発明を詳細に説明する。

本願発明で用いられる酵素源としては、上記化合物(I-a)または上記化合物(I-b)から、上記化合物(II-a)または上記化合物(II-b)を生成する活性を有し、かつ胞子形成能を有さず菌糸状に成育しない微生物、該微生物の培養物、該培養物の処理物があげられる。

アルキルとしては、直鎖または分岐状の、炭素数  $1\sim10$ 、好ましくは  $1\sim6$  の アルキルであり、例えばメチル、エチル、プロピル、イソプロピル、ブチル、イソブチル、  $1\sim1$  、 $1\sim1$ 

アリールとしては、フェニル、ナフチル等があげられる。

置換アルキルにおける置換基としては、同一または異なって1~3のハロゲン、 ヒドロキシ、アミノ、アルコキシ、アリール等があげられる

置換アリールにおける置換基としては、同一または異なって1~3のハロゲン、 ヒドロキシ、アミノ、アルキル、アルコキシ等があげられる。

アルコキシにおけるアルキル部分は上述のアルキルと同義である。

アルカリ金属とは、リチウム、ナトリウム、カリウム、ルビジウム、セシウム、

フランシウムの各元素を表す。

上記微生物としては、例えば<u>Mycobacterium</u>属、<u>Corynebacterium</u>属、

<u>Brevibacterium</u>属、<u>Rhodococcus</u>属、<u>Gordona</u>属、<u>Arthrobacter</u>属、<u>Micrococcus</u>属、

<u>Cellulomonas</u>属、およびSphingomonas属から選ばれる微生物があげられる。

具体的には、Mycobacterium phlei、Mycobacterium smegmatis、Mycobacterium thermoresistibile、Mycobacterium neoaurum、Mycobacterium parafortuitum、Mycobacterium gilvum、Rhodococcus globerulus、Rhodococcus equi、Rhodococcus erythropolis、Rhodococcus rhodochrous、Rhodococcus rhodnii、Rhodococcus ruber、Rhodococcus coprophilus、Rhodococcus fascians、Gordona amarae、Gordona rubropertinctus、Gordona bronchialis、Gordona sputi、Gordona aichiensis、Gordona terrae、Corynebacterium glutamicum、Corynebacterium mycetoides、Corynebacterium variabilis、Corynebacterium ammoniagenes、Arthrobacter crystallopoietes、Arthrobacter duodecadis、Arthrobacter ramosus、Arthrobacter sulfureus、Arthrobacter aurescens、Arthrobacter citreus、Arthrobacter globiformis、Brevibacterium acetylicum、Brevibacterium linens、Brevibacterium incertum、Brevibacterium iodinum、Micrococcus luteus、Micrococcus roseus、Cellulomonas cellulans、Cellulomonas cartae、Sphingomonas paucimobilis、Sphingomonas adhaesiva、およびSphingomonas terraeから選ばれる微生物があげられる。

さらに具体的には、Mycobacterium phlei JCM5865、Mycobacterium smegmatis JCM5866、Mycobacterium thermoresistibile JCM6362、Mycobacterium neoaurum JCM6365、Mycobacterium parafortuitum JCM6367、Mycobacterium gilvum JCM6395、Rhodococcus globerulus ATCC25714、Rhodococcus equi ATCC21387、Rhodococcus equi ATCC7005、Rhodococcus erythropolis ATCC4277、Rhodococcus rhodochrous ATCC21430、Rhodococcus rhodochrous ATCC13808、Rhodococcus rhodnii ATCC35071、Rhodococcus ruber JCM3205、Rhodococcus coprophilus ATCC29080、Rhodococcus fascians ATCC12974、Rhodococcus fascians ATCC35014、Gordona amarae ATCC27808、Gordona rubropertinctus IFM-33、Gordona rubropertinctus ATCC14352、Gordona bronchialis ATCC25592、Gordona sputi ATCC29627、Gordona aichiensis ATCC33611、

Gordona terrae ATCC25594、Gordona sp. ATCC19067、Corynebacterium glutamicum ATCC13032、Corynebacterium glutamicum ATCC14020、Corynebacterium glutamicum ATCC19240、Corynebacterium glutamicum ATCC19240、Corynebacterium mycetoides ATCC21134、Corynebacterium variabilis ATCC15753、Corynebacterium ammoniagenes ATCC6872、Arthrobacter crystallopoietes ATCC15481、Arthrobacter duodecadis ATCC13347、Arthrobacter ramosus ATCC13727、Arthrobacter sulfureus ATCC19098、Arthrobacter aurescens ATCC13344、Arthrobacter citreus ATCC11624、Arthrobacter globiformis ATCC8010、Brevibacterium acetylicum ATCC953、Brevibacterium linens ATCC19391、Brevibacterium incertum ATCC8363、Brevibacterium iodinum IF03558、Micrococcus luteus ATCC4698、Micrococcus roseus ATCC186、Cellulomonas cellulans ATCC15921、Cellulomonas cartae ATCC21681、Sphingomonas paucimobilis ATCC29837、Sphingomonas adhaesiva JCM7370、Sphingomonas terrae ATCC15098、およびGordona sp.ATCC19067等があげ られる。

また、これらの微生物の継代培養体、突然変異体もしくは誘導体、遺伝子組換え技術により製造した組み換え体等も用いられる。

本願発明に用いられる微生物の培養に用いられる培地は、本願発明の微生物が資化することができる炭素源、窒素源、無機塩類等を含有し、本願発明の微生物の培養を効率的に行える培地であれば、天然培地、合成培地のいずれでも用いられる。

培地中の炭素源の具体例としては、例えば、グルコース、フラクトース、グリセロール、マルトース、スターチ、サッカロース等の炭水化物、酢酸、クエン酸等の有機酸、糖蜜等があげられる。

窒素源の具体例としては、アンモニア、塩化アンモニウム、硫酸アンモニウム、酢酸アンモニウム、硝酸アンモニウム、リン酸アンモニウム等の各種無機酸や有機酸のアンモニウム塩、ペプトン、肉エキス、コーンスティープリカー、カゼイン加水分解物、大豆ミール、綿実かす、魚ミール、各種発酵菌体およびその消化物等があげられる。

無機物の具体例としては、リン酸第一カリウム、リン酸第二カリウム、リン酸マグネシウム、硫酸マグネシウム、塩化ナトリウム、硫酸第一鉄、硫酸マンガン、硫

酸銅、炭酸カルシウム等があげられる。

また必要に応じてチアミン、ビオチン等のビタミン類、グルタミン酸、アスパラギン酸等のアミノ酸、アデニン、グアニン等の核酸関連物質を添加してもよい。

本願発明に用いられる微生物の培養は、振とう培養、通気撹拌培養等の好気的条件下で行うことが好ましい。通気撹拌培養の場合は、発泡を防ぐため消泡剤を適量添加するのが好ましい。培養は通常20~50℃、好ましくは25~40℃で、6~120時間行う。培養中pHは5.0~10.0、好ましくは6.0~8.5に保持する。pH調整は無機酸或いは有機酸、アルカリ溶液、尿素、炭酸カルシウム、アンモニア等を用いて行う。

このようにして得られる微生物の培養物の処理物としては、培養菌体、該菌体の 乾燥物、該菌体の凍結乾燥物、該菌体の界面活性剤処理物、該菌体の酵素処理物、 該菌体の超音波処理物、該菌体の機械的摩砕物、該菌体の溶媒処理物等の菌体処理 物、菌体の蛋白分画物、菌体および菌体処理物の固定化物等があげられる。

化合物(I-a)または化合物(I-b)から化合物(II-a)または化合物(II-b)への変換方法は、微生物を培養する培地に予め化合物(I-a)または化合物(I-b)を添加する方法を用いてもよいし、培養中に化合物(I-a)または化合物(I-b)を添加する方法を用いてもよい。また、酵素源を化合物(I-a)または化合物(I-b)に水性媒体中で作用させる方法を用いてもよい。

化合物(I-a)または化合物(I-b)を微生物を培養する培地中に添加する場合、化合物(I-a)または化合物(I-b)は培地1mIあたり $0.1\sim10mg$ 好ましくは $0.2\sim1mg$ を培養の初発または途中に添加する。化合物(I-a)または化合物(I-b)を添加する際、化合物(I-a)または化合物(I-b)をメチルアルコール、エチルアルコール等の溶媒に溶解して添加してもよい。

酵素源を、化合物(I-a)または化合物(I-b)に水性媒体中で作用させる方法を用いる場合、用いる酵素の量は、当該酵素源の比活性等により異なる。例えば、酵素源として微生物の培養物もしくは該培養物の処理物を用いる場合は、酵素源を化合物(I-a)または化合物(I-b)のImgあたり $5\sim1000$ mg、好ましくは $10\sim400$ mg添加する。反応は水性媒体中 $20\sim50$ °Cで行うことが好ましく、特に $25\sim40$ °Cで行うことが好ましい。反応時間は用いる酵素源の量および比活性等により異なるが、通常 $0.5\sim150$ 時間、好ましくは $1\sim72$ 時間である。

水性媒体としては、水、リン酸緩衝液、HEPES(N-2ヒドロキシエチルピペラジン-N-エタンスルホン酸)緩衝液、トリス[トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン]塩酸緩衝液等の緩衝液があげられる。反応を阻害しなければ該緩衝液に有機溶媒を添加してもよい。有機溶媒としては、アセトン、酢酸エチル、ジメチルスルホキシド、キシレン、メチルアルコール、エチルアルコール、ブタノール等があげられる。有機溶媒と水性媒体との混合液は、化合物(I-b)を用いる場合好ましく用いられる。

上記製造方法により、化合物(I-a)から化合物(II-a)または化合物(II-a)と化合物(II-b)の混合物を得ることができる。

また、同様に、化合物(I-b)から化合物(II-b)または化合物(II-a)と化合物(II-b)の混合物を得ることができる。

さらに、化合物(I-a)と化合物(I-b)の混合物から、化合物(II-a)と化合物(II-b) の混合物を得ることもできる。

化合物(I-b)および化合物(II-b)は下記に例示するラクトンの開環方法により、容易に化合物(I-a)および化合物(II-a)にそれぞれ変換することができる。また化合物(I-a)および化合物(II-a)は下記に例示するラクトンの生成方法により、容易に化合物(I-b)および化合物(II-b)にそれぞれ変換することができる。

ラクトンの開環方法としては、化合物(I-b)または化合物(II-b)を水性媒体に溶解し、酸またはアルカリを添加する方法があげられる。水性媒体としては、例えば水、リン酸緩衝液、トリス緩衝液等反応を阻害しない塩類を含む水溶液があげられる。該水溶液中には、反応を阻害しない濃度のメタノール、エタノール、酢酸エチル等の有機溶媒を含んでいてもよい。酸としては酢酸、塩酸、硫酸等の酸が挙げられ、アルカリとしては、水酸化ナトリウム、水酸化カリウム、アンモニア等があげられる。

ラクトンの生成方法としては、化合物(I-a)または化合物(II-a)を非水系の溶媒に溶解し、酸または塩基触媒を添加する方法があげられる。非水系の溶媒としては実質的に水を含まない有機溶媒で化合物(I-a)または化合物(II-a)を溶解できるものならばいかなるものでも用いることができる。

非水系の溶媒としては、例えば、ジクロロメタン、酢酸エチル等があげられる。 触媒としては、ラクトン化反応を触媒し、基質や反応産物にラクトン化以外の作用

を及ぼさないものならば、どのようなものでも用いることができる。該触媒としては、例えば、トリフルオロ酢酸やパラトルエンスルホン酸等があげられる。反応温度は特に制限はないが、 $0\sim100$ °Cが好ましく、 $20\sim80$ °Cが特に好ましい。

反応終了後の上記溶液からの化合物(II-a)または化合物(II-b)の採取は、通常の有機合成化学で用いられる方法、例えば、有機溶媒による抽出、結晶化、薄層クロマトグラフィー、高速液体クロマトグラフィー等により行うことができる。

本願発明により得られる化合物(II-a)または化合物(II-b)の確認または定量方法は、化合物(II-a)および/または化合物(II-b)を確認または定量できる方法であれば、いずれの方法でも用いられる。例えば、 $^{13}$ C-NMRスペクトル、 $^{1}$ H-NMRスペクトル、 $^{1}$ セントル、高速液体クロマトグラフィー(HPLC)等の方法により行うことができる。

本発明において、化合物(I-a)、化合物(I-b)、化合物(II-a)および化合物(II-b) の中には、光学異性体等の立体異性体が存在し得るものもあるが、本発明は、これらを含め、全ての可能な異性体およびそれらの混合物を包含する。

化合物(I-a)としては、化合物(III-a)が好ましく、化合物(V-a)がより好ましく、 化合物(VII-a)が特に好ましい。

化合物(I-b)としては、化合物(III-b)が好ましく、化合物(V-b)がより好ましく、 化合物(VII-b)が特に好ましい。

化合物(II-a)としては、化合物(IV-a)が好ましく、化合物(VI-a)がより好ましく、 化合物(VIII-a)が特に好ましい。

化合物(II-b)としては、化合物(IV-b)が好ましく、化合物(VI-b)がより好ましく、 化合物(VIII-b)が特に好ましい。

以下に本願発明の実施例を示すが、本願発明はこれらの実施例に限定されるものではない。

### 発明を実施するための最良の形態

#### 実施例1

化合物(VII-b)(シグマ社製)  $100 \text{mg} \, \epsilon 9.5 \text{ml}$ のメタノールに溶解した後、 1 mol/l水酸化ナトリウム0.5 mlを加えて室温で1時間振盪した。得られた反応液を乾固し脱イオン水5 mlを加えて溶解し1 mol/l塩酸約0.1 mlでpHを約 $6.5 \sim 7.5$ に調整し、さら

に脱イオン水4.9mlを加えることにより最終濃度が10mg/mlの化合物(VII-a)[一般式(VII-a)中 $R^1$ がナトリウムである化合物]を10ml得た。

第1および2表に示した各種微生物をそれぞれ寒天培地[ペプトン(極東製薬工業製)1%、肉エキス(極東製薬工業製)0.7%、NaCl 0.3%、酵母エキス(日本製薬社製)0.2%、バクトアガー(ディフコ社製)2%、1 mol/l水酸化ナトリウムでpH7.2 に調整]に塗布し、第1および2表に表示した各温度で3日間培養した。寒天培地上に生育した菌株各々一白金耳をLB培地[バクトトリプトン(ディフコ社製)1%、バクトイーストエキストラクト(ディフコ社製)0.5%、1 mol/l水酸化ナトリウムでpH7.2に調整]3mlを含む試験管に植菌し、第1および2表に示した各温度で24時間振盪培養した。培養後の培養液0.25mlをTB培地[バクトトリプトン(ディフコ社製)1.4%、バクトイーストエキストラクト(ディフコ社製)2.4%、KH₂PO₄0.231%、K₂HPO₄1.251%、1 mol/l水酸化ナトリウムでpH7.4に調整]5mlを含む試験管に植菌し、第1および2表に示した各温度で24時間振盪培養した。24時間後、上記で得られた化合物(VII-a)を終濃度が0.4mg/mlになるようにそれぞれの試験管に添加し、さらに48時間第1および2表に示した各温度で振盪して反応を行なった。

反応終了後、反応液を酢酸でpH3.5に調整した。この反応液0.5mlに酢酸エチル1mlを加え、1時間振盪した。振盪後、3000rpm、5分間の遠心分離によって反応液を 2層に分け、上清の酢酸エチル層を回収し、遠心エバポレーターで溶媒を除去した後、残渣をメタノール0.5mlに溶解した。このメタノール溶液の一部を用いてHPLC分析 [カラム; Inertsil ODS- $2(5\mu$ m, 4x250mm, ジーエルサイエンス社製)、カラム温度;60°C、移動相;アセトニトリル:水:リン酸=55:45:0.05、流速:0.9ml/分、検出波長:237nm]を行ない、化合物(VIII-a)[一般式(VIII-a)中 $R^1$ はナトリウムである化合物]の検出、定量を行なった。結果を第1および第2表に示す。

#### 第 1 表

	<del></del>		
菌株名		化合物(VIII-a)	培養温度
		mg/l	(°C)
Mycobacterium phlei	JCM 5865	1.6	37
Mycobacterium smegmatis	JCM 5866	0.4	37
Mycobacterium thermoresistibile	JCM 6362	9. 1	37
Mycobacterium neoaurum	JCM 6365	3.7	37
Mycobacterium parafortuitum	JCM 6367	7. 4	37
Mycobacterium gilvum	JCM 6395	9. 6	37
Rhodococcus globerulus	ATCC25714	4.9	28
Rhodococcus equi	ATCC21387	2.5	30
Rhodococcus erythropolis	ATCC4277	1. 4	30
Rhodococcus rhodochrous	ATCC21430	4. 9	30
Rhodococcus equi	ATCC7005	1. 4	30
Rhodococcus rhodochrous	ATCC13808	4. 7	28
Rhodococcus rhodnii	ATCC35071	0.4	28
Rhodococcus ruber	JCM 3205	0.6	28
Rhodocuccus coprophilus	ATCC29080	5, 6	28
Rhodococcus fascians	ATCC12974	1.3	28
Rhodococcus fascians	ATCC35014	5. 2	30
Gordona amarae	ATCC27808	1. 2	30
Gordona rubropertinctus	IFM-33	2.5	30
Gordona bronchialis	ATCC25592	0.9	28
Gordona rubropertinctus	ATCC14352	0.7	28
Gordona sputi	ATCC29627	0.3	28
Gordona aichiensis	ATCC33611	0.6	28
Gordona sp.	ATCC19067	4.0	30
Gordona terrae	ATCC25594	0.3	28

第 2 表

大部分的 跨越大學 的复数形式

The state of the s						
菌株名		化合物VIII-a	培養温度			
	1555	(mg/1)	(C)			
Corynebacterium glutamicum	ATCC13032	1.1	30			
Corynebacterium glutamicum	ATCC14020	0.7	30			
Corynebacterium glutamicum	ATCC19240	1.0	30 -			
Corynebacterium mycetoides	ATCC21134	0.3	30			
Corynebacterium variabilis	ATCC15753	1.7	30			
Corynebacterium ammoniagenes	ATCC6872	0.6	30			
Arthrobacter crystallopoietes	ATCC15481	0. 5	30			
Arthrobacter duodecadis	ATCC13347	0. 7	30			
Arthrobacter ramosus	ATCC13727	2. 2	30			
Arthrobacter sulfureus	ATCC19098	1. 1	30			
Arthrobacter aurescens	ATCC13344	1. 3	30			
Arthrobacter citreus	ATCC11624	1. 2	30			
Arthrobacter globiformis	ATCC8010	0.3	30			
Brevibacterium acetylicum	ATCC953	0. 4	30			
Brevibacterium linens	ATCC19391	0. 5	30			
Brevibacterium linens	ATCC9172	0.6	30			
Brevibacterium incertum	ATCC8363	0. 5	30			
Brevibacterium iodinum	IF03558	0.8	30			
Micrococcus luteus	ATCC4698	0. 5	30			
Micrococcus roseus	ATCC186	0. 4	30			
Cellulomonas cellulans	ATCC15921	0. 7	30			
Cellulomonas cartae	ATCC21681	0. 7	30			
Sphingomonas paucimobilis	ATCC29837	3. 4	30			
Sphingomonas adhaesiva	JCM 7370	2. 7	37			
Sphingomonas terrae	ATCC15098	3. 1	30			

#### 実施例2

Mycobacterium gilvum JCM 6395株を実施例 1 と同様の寒天培地に塗布し、37℃で3日間培養し、寒天培地上に生育した菌株をLB培地3mlを含む試験管4本に植菌して、37℃で24時間振盪培養した。この培養液1.25mlを25mlのTB培地を含む300ml容三角フラスコ8本に各々植菌し、37℃で振盪培養した。24時間後に実施例 1 と同様に調整した化合物(VII-a)[一般式(VII-a)中R」はナトリウムである化合物]を終濃度が0.4mg/mlになるように添加し、37℃で48時間振盪した。反応終了後、培養液を3000rpm、4℃で10分間遠心分離し上清を分取した。この上清液のpHを酢酸で3.5に

調整し、400mlの酢酸エチルを添加して30℃で1時間振盪した後静置し、上清を回収した。下層の水層に対して同じ操作を繰り返し、得られた酢酸エチル層を先の上清と合わせた。この酢酸エチル層に飽和食塩水100mlを添加して振盪後、上清を回収した。

次にこの上清に無水 $Na_2SO_4$ を5g添加して室温で15分間放置後、減圧により酢酸エチルを蒸発させ、乾固した。得られた残渣を脱イオン水5m1に溶解して水酸化ナトリウムでpHを9.0に調整し、50m1のHP-20カラム(25x100mm、三菱化学社製)に通塔した。カラムは150m1の脱イオン水で洗浄したあと、アセトン含量20%、30%、40%のアセトン水溶液100m1で段階的に溶出した。分取した画分は実施例1と同様のHPLC分析を行い、化合物(VIII-a)を含む画分を回収した。減圧下でこの画分からアセトニトリルを除去し、1mol/1塩酸で溶液のpHを3.0に調整した。この溶液に360m1の酢酸エチルを添加して振盪し、静置後上清を回収した。この上清に飽和食塩水90m1を添加し振盪、静置後、上清を回収した。

次にこの上清に無水 $Na_2SO_4$ を4.5g添加して室温で15分間おいた後、減圧乾固した。得られた乾固物をジクロロメタンに溶解し、1%トリフルオロ酢酸を加えてラクトン化した。この反応物を分取用TLC[シリカゲル板;No.1.05744(200x200mm, 0.5mm厚)MERCK社製、展開溶媒;酢酸エチル、発色液;12.5%リンモリブデン酸・1%セリウム/10%硫酸溶液]を用いて分画し、化合物(VIII-b) 0.8mgが得られた。得られた化合物(VIII-b)のマススペクトルおよび $^1$ H-NMRスペクトル分析結果は以下の通りである。

#### マススペクトル

日本電子製JMS-HX/HX110A質量分析計を用い、マトリックスにm-ニトロベンジルアルコールを使用してポジティブモードで測定した。その結果、m/z 407に擬似分子イオンピーク([M+H]<sup>+</sup>)を与え、化合物(II-b)の構造および分子量(406)から期待される数値に一致した。

#### H-NMRスペクトル

日本電子製JNM- $\alpha$ 400型スペクトロメータを用い、重クロロホルム中、内部標準にTMSを使用し400MHzで測定した。その結果を以下に示す。このスペクトルデータは化合物(VIII-b)の公知のデータ[三共研究所年報、37、147(1985)]と一致した。

 $\delta$  ppm(CDCl<sub>3</sub>):6.01(1H, d,J=9.5Hz), 5.89(1H, dd,J=9.5, 5.9Hz), 5.58(1H, m), 5.41(1H, m), 4.60(1H, ddd,J=10.6, 7.3, 5.4, 2.8Hz), 4.40(1H, m), 4.38(1H, m), 2.74(1H, dd,J=13.1, 6.0, 4.8, 1.5Hz), 2.40(1H, m), 2.36(1H, m), 2.34(1H, m), 1.95(1H, dddd, J=14.4, 3.7, 2.9, 1.7Hz), 1.86(1H, dddd, J=12.5, 12.3, 7.3, 4.3Hz), 1.69(1H, m), 1.68(1H, m), 1.64(1H, m), 1.57(1H, m), 1.5~1.4(2H, m), 1.43(1h, m), 1.30(1H, m), 1.12(3H, d, J=6.8Hz), 0.91(3H, d, J=7.1Hz), 0.89(3H, t, J=7.4Hz)

### 産業上の利用可能性

本願発明によりHMG-CoAレダクターゼを阻害し、血清コレステロールの低下作用等を有する化合物を効率よく製造することができる。

#### 請求の範囲

### 1. 一般式(I-a)

$$R^{1}OOC$$
 OH HO (I-a)

(式中、 $R^1$ は水素原子、置換もしくは非置換のアルキルまたはアルカリ金属を表し、 $R^2$ は置換もしくは非置換のアルキルまたは置換もしくは非置換のアリールを表す)で表される化合物 [以下、化合物(I-a)という] または一般式(I-b)

$$R^2$$
 (I-b)

(式中、 $R^2$ は前記と同義)で表される、化合物(I-a)のラクトン体 [以下、化合物 (I-b)という]から、一般式(II-a)

(式中、 $R^1$ および $R^2$ は前記と同義)で表される化合物 [以下、化合物(II-a)という] または一般式(II-b)

$$R^2$$
 (II-b)

(式中、R²は前記と同義)で表される、化合物(II-a)のラクトン体 [以下、化合物(II-b)という]を生成する活性を有し、かつ胞子形成能を有さず菌糸状に生育しない微生物、該微生物の培養物または該培養物の処理物を酵素源として用い、化合物(I-a)または化合物(I-b)を水性媒体中に存在せしめ、該水性媒体中に化合物(II-a)または化合物(II-b)を生成、蓄積させ、該水性媒体から化合物(II-a)または化合物(II-b)を採取することを特徴とする、化合物(II-a)または化合物(II-b)の製造法。

### 2. 化合物(I-a)が一般式(III-a)

(式中、 $R^1$ は水素原子、置換もしくは非置換のアルキルまたはアルカリ金属を表し、 $R^2$ は置換もしくは非置換のアルキルまたは置換もしくは非置換のアリールを表す)で表される化合物[以下化合物(III-a)という]であり、化合物(I-b)が一般式(III-b)

(式中、 $R^2$ は前記と同義)で表される化合物[以下、化合物(III-b)という]であり、化合物(II-a)が一般式(IV-a)

(式中、 $R^1$ および $R^2$ は前記と同義)で表される化合物[以下、化合物(IV-a)という]であり、化合物(II-b)が一般式(IV-b)

(式中、R<sup>2</sup>は前記と同義)で表される化合物[以下、化合物(IV-b)という]である、 請求項1記載の製造法。

### 3. 化合物(I-a)が一般式(V-a)

(式中、 $R^1$ は水素原子、置換もしくは非置換のアルキルまたはアルカリ金属を表す)で表される化合物 [以下、化合物(V-a)という]であり、化合物(I-b)が一般式 (V-b)

で表される化合物[以下、化合物(V-b)という]であり、化合物(II-a)が一般式(VI-a)

(式中、 $R^1$ は前記と同義)で表される化合物 [以下、化合物(VI-a)という] であり、化合物(II-b)が一般式(VI-b)

で表される化合物 [以下、化合物(VI-b)という] である、請求項 1 記載の製造法。

### 4. 化合物(I-a)が一般式(VII-a)

(式中、 $R^1$ は水素原子、置換もしくは非置換のアルキルまたはアルカリ金属を表す)で表される化合物 [以下、化合物(VII-a)という] であり、化合物(I-b)が一般式(VII-b)

で表される化合物 [以下、化合物(VII-b)という] であり、化合物(II-a)が一般式 (VIII-a)

(式中、R<sup>1</sup>は前記と同義)で表される化合物 [以下、化合物(VIII-a)という]であり、化合物(II-b)が一般式(VIII-b)

で表される化合物 [以下、化合物(VIII-b)という] である、請求項1記載の製造法。

- 5. 微生物の培養物の処理物が、培養菌体、該菌体の乾燥物、該菌体の凍結乾燥物、該菌体の界面活性剤処理物、該菌体の酵素処理物、該菌体の超音波処理物、該菌体の機械的摩砕物、該菌体の溶媒処理物等の菌体処理物、菌体の蛋白分画物、菌体および菌体処理物の固定化物から選ばれる処理物である、請求項1記載の製造法。
- 6. 微生物が、Mycobacterium属、Corynebacterium属、Brevibacterium属、Bhodococcus属、Gordona属、Arthrobacter属、Micrococcus属、Cellulomonas属、およびSphingomonas属に属する微生物から選ばれる微生物である、請求項1記載の製造法。

- 7. 微生物がMycobacterium phlei、Mycobacterium smegmatis、Mycobacterium thermoresistibile, Mycobacterium neoaurum, Mycobacterium parafortuitum, Mycobacterium gilvum, Rhodococcus globerulus, Rhodococcus equi, Rhodococcus erythropolis, Rhodococcus rhodochrous, Rhodococcus rhodnii, Rhodococcus ruber, Rhodococcus coprophilus, Rhodococcus fascians, Gordona amarae, Gordona rubropertinctus, Gordona bronchialis, Gordona sputi, Gordona aichiensis, Gordona terrae, Corynebacterium glutamicum, Corynebacterium mycetoides, Corynebacterium variabilis, Corynebacterium ammoniagenes, Arthrobacter crystallopoietes, Arthrobacter duodecadis, Arthrobacter ramosus, Arthrobacter sulfureus, Arthrobacter aurescens, Arthrobacter citreus, Arthrobacter globiformis, Brevibacterium acetylicum, Brevibacterium linens, Brevibacterium incertum, Brevibacterium iodinum, Micrococcus luteus, Micrococcus roseus, Cellulomonas cellulans, Cellulomonas cartae, Sphingomonas paucimobilis, Sphingomonas adhaesiva、およびSphingomonas terraeから選ばれる微生物である、 請求項1記載の製造法。
- 8. 微生物がMycobacterium phlei JCM5865、Mycobacterium smegmatis JCM5866、Mycobacterium thermoresistibile JCM6362、Mycobacterium neoaurum JCM6365、Mycobacterium parafortuitum JCM6367、Mycobacterium gilvum JCM6395、Rhodococcus globerulus ATCC25714、Rhodococcus equi ATCC21387、Rhodococcus equi ATCC21387、Rhodococcus erythropolis ATCC4277、Rhodococcus rhodochrous ATCC21430、Rhodococcus rhodochrous ATCC13808、Rhodococcus rhodonii ATCC35071、Rhodococcus ruber JCM3205、Rhodococcus coprophilus ATCC29080、Rhodococcus fascians ATCC12974、Rhodococcus fascians ATCC35014、Gordona amarae ATCC27808、Gordona rubropertinctus IFM-33、Gordona rubropertinctus ATCC14352、Gordona bronchialis ATCC25592、Gordona sputi ATCC29627、Gordona aichiensis ATCC33611、Gordona terrae ATCC25594、Corynebacterium glutamicum ATCC13032、Corynebacterium glutamicum ATCC19240、Corynebacterium glutamicum ATCC19240、Corynebacterium mycetoides ATCC21134、Corynebacterium variabilis ATCC15753、Corynebacterium ammoniagenes ATCC6872、Arthrobacter crystallopoietes

ATCC15481、Arthrobacter duodecadis ATCC13347、Arthrobacter ramosus ATCC13727、Arthrobacter sulfureus ATCC19098、Arthrobacter aurescens ATCC13344、Arthrobacter citreus ATCC11624、Arthrobacter globiformis ATCC8010、Brevibacterium acetylicum ATCC953、Brevibacterium linens ATCC19391、Brevibacterium linens ATCC19391、Brevibacterium linens ATCC8363、Brevibacterium iodinum IF03558、Micrococcus luteus ATCC4698、Micrococcus roseus ATCC186、Cellulomonas cellulans ATCC15921、Cellulomonas cartae ATCC21681、Sphingomonas paucimobilis ATCC29837、Sphingomonas adhaesiva JCM7370、およびSphingomonas terrae ATCC15098から選ばれる微生物である、請求項1記載の製造法。

9. 微生物がGordona sp. ATCC19067である、請求項1記載の製造法。

#### 要約書

本願発明は、一般式(I-a)

$$R^{1}OOC$$
 OH HO (I-a)

(式中、 $R^1$ は水素原子、置換もしくは非置換のアルキルまたはアルカリ金属を表し、 $R^2$ は置換もしくは非置換のアルキルまたは置換もしくは非置換のアリールを表す)で表される化合物 [以下、化合物(I-a)という] またはその閉鎖ラクトン体 [以下、化合物(I-b)という] を水酸化する活性を有し、かつ胞子形成能を有さず菌糸状に生育しない微生物、該微生物の培養物または該培養物の処理物を酵素源として化合物(I-a)または化合物(I-b)に水性媒体中で作用させ、該水性媒体から化合物(I-a)または化合物(I-b)の水酸化物[以下、化合物(II-a)または化合物(II-b)という]を採取することを特徴とする、化合物(II-a)または化合物(II-b)の製造法に関する。

#### REQUEST

The undersigned requests that the present international application be processed

For receiving Office use only
International Application No.
International Filing Date
Name of receiving Office and "PCT International Application"
Applicant's or agent's file reference 1179

according to the Patent Cooperation Treaty. (if desired) (12 characters maximum) TITLE OF INVENTION Box No. I PROCESS FOR PRODUCING HMG-COA REDUCTASE INHIBITORS APPLICANT Box No. II Name and address: (Family name followed by given name; for a legal entity, full official designation. The address must include postal code and name of country. The country of the address indicated in this Box is the applicant's State (i.e. country) of residence if no State of residence is indicated below.) This person is also inventor. Telephone No. KYOWA HAKKO KOGYO CO., LTD. 03-3282-0036 6-1, Ohtemachi 1-chome, Chiyoda-ku, Facsimile No. 03-3282-1527 Tokyo 100-8185 Japan Teleprinter No. State (i.e. country) of residence: State (i.e. country) of nationality: JAPAN JAPAN the States indicated in the Supplemental Box all designated States except the United States of America the United States all designated of America only This person is applicant for the purposes of: FURTHER APPLICANT(S) AND/OR (FURTHER) INVENTOR(S) Box No. III Name and address: (Family name followed by given name; for a legal entity, full official designation. The address must include postal code and name of country. The country of the address indicated in this Box is the applicant's State (i.e. country) of residence if no State of residence is indicated below.) This person is: applicant only HASHIMOTO Shin-ichi applicant and inventor c/o Tokyo Research Laboratories, inventor only (If this check-box KYOWA HAKKO KOGYO CO., LTD. is marked, do not fill in below.) 6-6, Asahi-machi 3-chome, Machida-shi, Tokyo 194-8533 Japan State (i.e. country) of residence: JAPAN State (i.e. country) of nationality: JAPAN the States indicated in the Supplemental Box the United States of America only all designated States except the United States of America X This person is applicant all designated for the purposes of: Further applicants and/or (further) inventors are indicated on a continuation sheet. AGENT OR COMMON REPRESENTATIVE; OR ADDRESS FOR CORRESPONDENCE Box No. IV The person identified below is hereby/has been appointed to act on behalf common representative agent of the applicant(s) before the competent International Authorities as: Telephone No. (Family name followed by given name; for a legal entity, full official designation. The address must include postal code and name of country.) Name and address: Facsimile No. Teleprinter No. Mark this check-box where no agent or common representative is/has been appointed and the space above is used instead to indicate a special address to which correspondence should be sent.

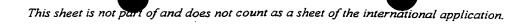
Continuation of Box No. III FUN. ER APPLICANT(S)	AND/OR (FURTHER) IN STOR(S)
	his sheet should not be included in the request.
Name and address: (Family name followed by given name: for a ladesignation. The address must include postal code and name of coulor address indicated in this Box is the applicant's State (that is. country of residence is indicated below.)  YONETANI Yoshiyuki  C/O Tokyo Research Laborator: KYOWA HAKKO KOGYO CO., LTD. 6-6, Asahi-machi 3-chome, Machine Tokyo 194-8533 JAPAN	ies,  legal entity, full official nury. The country of the of residence if no State  This person is:  applicant only  X applicant and inventor
State (that is, country) of nationality: JAPAN	State (that is, country) of residence: JAPAN
for the purposes of: States the United Sta	States except X the United States the States indicated in the Supplemental Box
Name and address: (Family name followed by given name: for a le designation. The address must include postal code and name of coun address indicated in this Box is the applicant's State (that is, country) of residence is indicated below.)  OZAKI Akio  c/o Technical Research Labor  KYOWA HAKKO KOGYO CO., LTD.  1-1, Kyowa-cho, Hofu-shi,  Yamaguchi 747-8522 Japan	applicant only
State (that is, country) of nationality:	State (that is, country) of residence:
This person is applicant all designated all designated for the purposes of:  all designated the United States	States except X the United States the States indicated in the Supplemental Box
Name and address: (Family name followed by given name: for a legacy designation. The address must include postal code and name of count address indicated in this Box is the applicant 'sState (that is, country) of residence is indicated below.)	gal entity, full official by. The country of the of residence if no State  This person is:  applicant only  applicant and inventor  inventor only (If this check-box is marked, do not fill in below.)
State (that is, country) of nationality:	State (that is, country) of residence:
This person is applicant all designated all designated for the purposes of:	States except the United States the States indicated in the Supplemental Box
Name and address: (Family name followed by given name; for a leg designation. The address must include postal code and name of count, address indicated in this Box is the applicant's State (that is, country) o of residence is indicated below.)	applicant only  applicant and inventor  inventor only (If this check-box is marked, do not fill in below.)
State (that is, country) of nationality:	State (that is, country) of residence:
This person is applicant all designated all designated S for the purposes of:  all designated S the United States	tates except the United States the States indicated in the Sof America only the Supplemental Box
Further applicants and/or (further) inventors are indicated on	another continuation sheet.

Box No.V DESIGNATION OF	
The following designations are hereby made under Ruis	: 4.9(a) (mark the applicable check-boxes; at least one must be marked):
Regional Patent	. ·
AP ARIPO Patent: GH Ghana, GM Gambia, I SZ Swaziland, UG Uganda, ZW Zimbabw and of the PCT	Œ Kenya, LS Lesotho, MW Malawi, SD Sudan, SL Sierra Leone, e, and any other State which is a Contracting State of the Harare Protocol
Moldova, RU Russian Federation, TJ Tajik of the Eurasian Patent Convention and of the	
DK Denmark, ES Spain, ET Finland, FR France	n, CH and LI Switzerland and Liechtenstein, CY Cyprus, DE Germany, ce, GB United Kingdom, GR Greece, IE Ireland, IT Italy, LU Luxembourg, SE Sweden, and any other State which is a Contracting State of the European
GA Gabon, GN Guinea, ML Mali, MR Man which is a member State of OAPI and a Contrac	F Central African Republic, CG Congo, CI Côte d'Ivoire, CM Cameroon, ritania, NE Niger, SN Senegal, TD Chad, TG Togo, and any other State ting State of the PCT (if other kind of protection or treatment desired, specify
National Patent (if other kind of protection or treatment de	esired, specify on dotted line):
🛛 AE united Arab Emirates	X LS Lesotho
🕱 AL Albania	
X AM Armenia	
X AT Austria	
X AU Australia	
	MG Madagascar     MK The former Yugoslav Republic of Macedonia
☑ BA Bosnia and Herzegovina	MK The former Yugoslav Republic of Macedonia
図 BB Barbados   図 BG Bulgaria	
BR Brazii	
図 BY Belarus	<del></del>
CA Canada	NO Norway
X CH and LI Switzerland and Liechtenstein	X NZ New Zealand
⊠ CN China	PL Poland
X CU Cuba	→ PT Pormgal
🖾 CZ Czech Republic	RO Romania
☑ DE Germany	X RU Russian Federation
☑ DK Denmark	▼ SD Sudan
🗵 EE Estonia	☒ SE Sweden
🔀 ES Spain	▼ SG Singapore
🔀 Fi Finland	图 SI Slovenia
☑ GB United Kingdom	🛛 SK Slovakia
🗵 GD Grenada	🕱 SL Sierra Leone
☑ GE Georgia	☐ TJ Tajikistan
☑ GH Ghana	X TM Turkmenistan
M GM Gambia	TR Turkey
☑ HR Croatia ☑ HU Hungary	TT Trinidad and Tobago
Lxi HU Hungary	X UA Ukraine
IL Israel	
X In India	US United States of America
X IS Iceland	
☑ JP Japan	<b>=</b>
₩ KE Kenya	☑ YU Yugoslayia
☑ KG Kyrgyzstan	
☐ KP Democratic People's Republic of Korea	X ZW Zimbabwe
	Check-boxes reserved for designating States (for the purposes of
KR Republic of Korea	a national patent) which have become party to the 101
X KZ Kazakhstan	issuance of this sheet:
LC Saint Lucia	☑ CR Costa Rica ☑ MA Morocco
LK Sri Lanka	M DM Dominica
☑ LR Liberia	TZ Tanzania

Precautionary Designation Statement: In addition to the designations made above, the applicant also makes under Rule 4.9(b) all other designations which would be permitted under the PCT except any designation(s) indicated in the Supplemental Box as being excluded from the scope of this statement. The applicant declares that those additional designations are subject to confirmation and that any designation which is not confirmed before the expiration of 15 months from the priority date is to be regarded as withdrawn by the applicant at the expiration of that time limit. (Confirmation of a designation consists of the filing of a notice specifying that designation and the payment of the designation and confirmation fees. Confirmation must reach the receiving Office within the 15-month time limit.)

Shes: No. ...4...

	7.1.724		Further priority claims are indicated in the Supplemental B.					
Box No. VI PRIORITY C	Number		Where earlier application is:					
Filing date of earlier application (day/month/year)	of earlier application		national application: country	regional application:* regional Office	international application receiving Office			
item (I) 20/01/1999	Patent App 11-12392	lic	ation JAPAN					
item (2)	Ĭ.							
item (3)								
The receiving Office is required of the earlier application(s) purposes of the present inte	(Only if the con ison -	T.		ed above as item(s):	(1)			
* Where the earlier application is a	in ARIPO application, it fustrial Property for wh	i is ma ich tha	naciory to indicate u earlier application was file	upplemental Box at least on ed (Rule 4.10(b)(ii)). See S	ne country party to the Par supplemental Box.			
Box No. VII INTERNATION	NAL SEARCHING	AULE	10M1 1					
Choice of International Searchi (if two or more International Sear- competent to carry out the internati the Authority chosen; the two-letter	ing Authority (ISA) ching Authorities are	Requ	nest to use results of earl h has been carried out by or i (day/month/year)	requested from the titles had	o that search (y an earlie ional Searching Authority) Country (or regional Office			
ISA / JP								
Box No. VIII CHECK LIST;	LANGUAGE OF F	ILIN	<u>G</u>	11 (-)iend	helour			
This international application con the following number of sheets:	ntains This internal	rional	application is accompanie	ed by the item(s) marked	. Delow.			
request : 4		ate sie	med power of attorney		.10			
description (excluding sequence listing part) : 19	3. ☐ copy	of gen	ieral power of attorney; re	eference number, if any:				
claims : 7	4. 🗔 staten	nent e	xplaining lack of signature	<b>7</b>	•			
abstract : 1	5. priority document(s) identified in Box No. VI as item(s):							
drawings : 0	6. 🗌 transla	arión (	of international application	i into (language):	ther biological material			
sequence listing part of description C	7. ☐ separa 8. ☐ nucleo	ite ind oride a	lications concerning depos and/or amino acid sequenc	e listing in computer read	dable form			
Total number of sheets : 31								
Figure of the drawings which should accompany the abstract:		Lang	uage of filing of the ational application:	Japanese				
	APPLICANT OR A	GEN	T		/ / /			
Box No. IX SIGNATURE OF Vext to each signature, indicate the name	of the person signing and	the cap	pacity in which the person signs	(if such capacity is not obviou	us from reading the requesti-			
ten io entri sigrami a parama socialis	<b>4</b> .	Н	ASHIMOTO Shin-	-ichi OZAKI	Akio			
KYOWA HAKKO KOGY	O CO.,LTD.							
				znki				
E all all all		Y	ONETANI Yoshi	y until				
$e^{i\vec{r}_i}$			. 0.00 - was apply					
Date of actual receipt of the pur international application:		recer	ving Office use only		2 Drawings:			
Corrected date of acrual receipt	ngs completing				received:			
the purported international application of timely receipt of the requirections under PCT Article 1	uired				not received:			
International Searching Authorit (if two or more are competent):			6. Transmittal of until search fe	f search copy delayed e is paid.	P			
(II two or more are competent):			onal Bureau use only					
ate of receipt of the record copy the International Bureau:	For inte	च्यायस	Onni Dia and and Sing a		ver to the request form			



PCI	For receiving Office use only
FEE CALCULATION SHEET	•
Annex to the Request	International application No.
Applicant's or agent's 1179	Date stamp of the receiving Office
Applicant  KYOWA HAKKO KOGYO CO., LTD.	
CALCULATION OF PRESCRIBED FEES  1. TRANSMITTAL FEE  2. SEARCH FEE  International search to be carried out by  (If two or more International Searching Authorities are competent in relation	to the international
application, indicate the name of the Authority which is chosen to carry out the interval.  3. INTERNATIONAL FEE  Basic Fee The international application contains sheets.  first 30 sheets	b1 b2
number of designation fees amount of designation fee payable (maximum 11)  Add amounts entered at B and D and enter total at I	47,100 B  ,200 D  126,300 I
international fee. Where the applicant is (or all applicants are) so entitled, the total to be entered at I is 25% of the sum of the amounts entered at B and D.)  4. FEE FOR PRIORITY DOCUMENT (if applicable)  5. TOTAL FEES PAYABLE  Add amounts entered at T, S, I and P, and enter total in the TOTAL box	P 221,300 TOTAL
The designation fees are not paid at this time.  MODE OF PAYMENT	
authorization to charge deposit account (see below) ank draft cheque cash postal money order revenue stamps	coupons other (specify):
deposit account.	
Deposit Account No.  Date (day/month/year)	Signature

### 特許協力条約に基づく国民出願

約に従って処理されることを調求する。

國際出順番号	(国) 广节 智己 八 州南	
四 際 出 順 日		-
(受付印)		
出願人又は代理人の書類記号	1179	

願 出願人は、この国際出順が特許協力条 9年1 相前 発明の名称 HMG-CoA レ ダ ク タ ー ゼ 阻 害 剤 の 製 造 法 第耳欄 出順人 氏名(名称)及びあて名:(姓・名の順に記載;法人は公式の完全公名称を記載;あて名は鄭便番号及び国名も記載) **粒話番号**: 協和醱酵工業株式会社 03-3282-0036 KYOWA HAKKO KOGYO CO., LTD. 〒100-8185 日本国東京都千代田区大手町一丁目6番1号 ファクシミリ番号: 6-1, Ohtemachi 1-chome, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8185 Japan 03-3282-1527 加入電信番号: 日本国 JP 日本国 JP 国籍 (固名): 住所 (国名): この欄に記載した者は、次の すべての指定国 米国を除くすべての指定国 米国のみ 追記欄に記載した指定国 指定国についての出願人である: その他の出順人又は発明者 氏名(名称)及びあて名:(姓・名の順に記憶;些人は公式の完全な名称を記載;あて名は鄭便皆号及び国名も記載) この欄に記載した者は 次に該当する: 橋本 信一 HASHIMOTO Shin-ichi 〒194-8533 日本国東京都町田市旭町3丁目6番6号 出願人のみである。 協和醱酵工業株式会社 東京研究所内 出願人及び発明者である。 c/o Tokyo Research Laboratories, KYOWA HAKKO KOGYO CO., LTD. 発明者のみである。 6-6, Asahi-machi 3-chome, Machida-shi, Tokvo 194-8533 (ここにレ印を付したとき は、以下に記入しないこと) Japan 日本国 JP 国籍 (国名): 日本国 JP 住所 (国名): この側に記載した者は、次の すべての指定国 米国のみ 米国を除くすべての指定国 追配欄に記載した指定国 指定国についての出願人である: ★ その他の出願人又は発明者が続葉に記載されている。 36 I V 村間 代理人又は共通の代表者、通知のあて名 次に記載された者は、国際機関において出願人のために行動する: 代理人 共通の代表省 氏名(名称)及びあて名:(佐・名の順に記載;法人は公式の完全な名称を記載;あて名は郵便番号及び国名も記載) 雜話番号: ファクシミリ番号: 加入賦倡番号:

通知のためのあて名:代理人又は共通の代表者が選任されておらず、上配枠内に特に通知が送付されるあて名を配載している場合は、レ印を付す。

				4	2	,					ì	ā	

	その他の比 人又は発明			
	この鍵薬を使用しないときは、			
	名の脚に記載:法人は公式の完全な名称を記 YONETANI Yoshiyuki	載;あて名は鄭便番号及(	び囲名 も記載)	この欄に配載した者は、 次に該当する:
	日本国東京都町田市旭町3	丁目6番6号	•	出願人のみである。
	search Laboratories, KO KOGYO CO., LTD.		•	出願人及び発明者である。
	chi 3-chome, Machida-shi,	Tokyo 194-85	533	発明者のみである。 (ここにレ印を付したとき は、以下に記入しないこと
	国 JP	住所 <i>(国名)</i> :	日本国 JP	
この欄に記載した者は、次の 指定国についての出願人である:	すべての指定国 米国名	を除くすべての指定国	※国のみ	追記欄に記載した指定国
氏名(名称)及びあて名: <i>(姓・4</i>	8の順に記載;法人は公式の完全な名称を記む 	戦:あて名は鄭便番号及で	<b>グ国名も記載)</b>	この欄に記載した者は、 次に該当する:
〒747-8522 日	OZAKI Akio 本国山口県防府市協和町1	番1号		出願人のみである。
	Research Laboratories			出願人及び発明者である。
	KO KOGYO CO., LTD. , Hofu-shi, Yamaguchi 747-	-8522 Japan		発明者のみである。 (ここにレ印を付したとき は、以下に記入しないこと)
国籍 (国名) : 日本	区国 JP	住所 (固名):	日本国 JP	
この欄に記載した者は、次の 冒定国についての出願人である:	すべての指定国 米国を	除くすべての指定国	米園のみ	追記欄に記載した指定国
t名(名称)及びあて名: <i>(姓・名</i>	の順に記載:法人は公式の完全な名称を配職	な;あて名は鄭便番号及び	*国名も記載)	この欄に配載した者は、 次に該当する:
				出願人のみである。
				出順人及び発明者である。
				発明者のみである。
籍(固名):		<b>住所 (国名)</b> :		発明者のみである。
の欄に記載した者は、次の 定国についての出順人である:		除くすべての指定国	米国のみ	
の欄に記載した者は、次の 定国についての出順人である:	プログログログログログログ (大国を の頃に記載:佐人は公式の完全な名称を記載	除くすべての指定国	\	発明者のみである。 (ここにレ印を付したとき は、以下に記入しないこと)
の欄に記載した者は、次の 定国についての出願人である:		除くすべての指定国	\	発明者のみである。 (ここにレ印を付したとき は、以下に記入しないこと) 追記欄に記載した指定固 この欄に記載した者は、
籍 (閏名): の欄に記載した者は、次の 定関についての出願人である: 名 (名称) 及びあて名: <i>(姓・名</i>		除くすべての指定国	\	発明者のみである。 (ここにレ印を付したとき は、以下に記入しないこと)  追配側に配載した指定固  この欄に記載した者は、 次に該当する:
の欄に記載した者は、次の 定国についての出順人である:		除くすべての指定国	\	発明者のみである。 (ここにレ印を付したとき は、以下に起入しないこと)  追配欄に記載した指定頃  この欄に記載した者は、 次に該当する:  出願人のみである。  ・
の欄に記載した者は、次の 定国についての出願人である:		除くすべての指定国	\	発明者のみである。 (ごこにレ印を付したとき は、以下に記入しないこと)  追配欄に配載した指定固  この欄に記載した者は、 次に該当する:  出願人のみである。  出願人のみである。
の欄に記載した者は、次の 定 <u>関についての出解人である:</u> 名(名称)及びあて名: <i>(姓・名</i>	の順に記載、佐人は公式の完全な名称を記載	除くすべての指定国 : あて名は郵便番号及び	\	発明者のみである。 (ごこにレ印を付したとき は、以下に起入しないこと  連配欄に記載した指定頃  この欄に記載した者は、 次に該当する:  出願人のみである。  発明者のみである。

	•	3
	3 1	<u></u>
第マ梅	図の指定	
規則 4.9(n)	の規定に基づき次の指定を行う <i>(験当する口にレ印を付すこと;</i>	少なくとも1つの口にレ印を付すこと)。
広坂特別	<del>T</del>	
⊠ A P	MA W マラワイ Malavi, S D スーダン Sudan, S L ウガンダ Uganda, Z W ジンパブエ Zimbabwa, 及びハラレ	
⊠ EA	トレージ マルマス tyrgyzstan, トレージ カザフスタン Kazak	ia, A Z アゼルバイジャン Azerbaijan, B Y ベラルーシ Belarus, khstan, MID モルドヴァ Republic of Moldova, IR U ロシア Russian ルクメニスタン Turkmenistan, 及びユーラシア特許条約と特許協力条約の締約
⊠ E P	ンコクイン Spain, F I フィンランド Finland, F R I E アイルランド Ireland, I T イタリア Italy, ング Netherlands, P Tポルトガル Portugal, S E スケ	tria, B E ベルギー Belgium, C FI and L I スイス及びリヒテ: ス Cyprus, D E ドイツ Germany, D K デンマーク Denmark, E S フランス France, G B 英国 United Kingdom, G R ギリシャ Greece, L U ルクセンブルグ Luxembourg, M C モナコ Monaco, N L オラウェーデン Sweden, 及びヨーロッパ特許条約と特許協力条約の締約国である他のE
	○ A P I 中学書午: B F ブルキナ・ファン Burk Republic, C G コンゴー Congo, C I コートジボア C IV ギニア Guinea, G W ギニア・ビサオ Guinea-B ニジェール Niger, S IV セネガル Senegal, T ID チャー 特許協力条約の締約国である他の国 (他の種類の保護又は仮扱い	tina Faso, B J ベナン Benin, C F 中央アフリカ Central African ール Côted'lvoire, C M カメルーン Cameroon, G A ガポン Gubon, lissau, M L マリ Mali, M R モーリタニア Mauritunia, N 丘 ード Chad, T G トーゴー Togo, 及びアフリカ知的所有権機構のメンバー国と まを求める場合には点象上に記載する)
	〒(他の種類の保護又は収扱いを求める場合には点線上に記載する	
	アラブ首長国連邦 United Arab Emirates	☑ LR リベリア Liberia
MAL.	アルバニア Albania	上 S レソト Lesotho
MAM	アルメニア Armenia	L T リトアニア Lithuania
MAT.	オーストリア・Austria	L U ルクセンブルグ Luxembourg
MAU.	オーストラリア Australia	☑ L ▽ ラトヴィア Latvia
	アゼルバイジャン Azerbuijan	MD モルドヴァ Republic of Moldova
⊠ BA	ボスニア・ヘルツェゴヴィナ Bosnia and Herzegovina	MG マダガスカル Madaguscar
MBB.	バルバドス Barbados	MIK マケドニア旧ユーゴースラヴィア共和国 The former Yugoslav
	ブルガリア Bulgaria	
X BR	ブラジル Brazil	MN モンゴル Mongolia
⊠ B Y /	ベラルーシ Belarus	MW マラウイ Malavi
Z CA	カナダ Cunada	MX メキシコ Mexico
	スァン Canada and L. I スイス及びリヒテンシュタイン	NO 1-Norway
	Switzerland and Liechtenstein	N Z ニュー・ジーランド New Zealand
M C N		≥ P L ポーランド Poland
	中国 China	P T ポルトガル Portugal
	キューバ Cuba	RO N-V=7 Romania
	デェッコ Czech Republic	R U ロシア Russian Federation
	ドイツ Germany	S D スーダン Sudan
$\triangle$ DK $=$	デンマーク Denmark	S E スウェーデン Sweden
MEE =	エストニア Estonia	区 S G シンガポール Singapore
⊠ES >	スペイン Spain	S I スコヴェニア Slovenia
≥ F i >	フィンランド Finland	S K スロヴァキア Slovakia
	と国 United Kingdom	S L シエラ・レオーネ Sierra Leone
	ノレナダ Grenada	☑ ´Γ J タジキスタン Tujikisten
⊠ GE /	プルジア Georgia	▼ TM トルクメニスタン Turkmenisten
⊠ G F1 ⊅	/一ナ Ghane	☑ TR トルコ Turkey
⊠ GM #	リンピア Gambia	▼ T トリニダッド・トバゴ Trinidad and Tobago
MHR 1	ロアチア Croatia	☑ U A ウクライナ Ukraine
M HU ~	ンガリー Hungary	☑ U G ウガンダ Uganda
X ID1	ンドネシア Indonesia	☑ U S 米園 United States of America
	スラエル israel	WEN OUT FOR DEGLES OF WHALLES

ためのものである

☑ U Z ウズベキスタン Uzbekistun\_\_\_\_\_

✓ M ヴィエトナム Viet Nam

✓ U ユーゴースラヴィア Yugoslavia

Z A 南アフリカ共和国 South Africa

☑ Z W ジンバブエ Zimbabwe

下の口は、この様式の施行後に特許協力条約の締約国となった国を指定する

招定の確認の賞書:出願人は、上記の指定に加えて、規則 4.9(b)の規定に基づき、特許協力条約の下で認められる他の全ての関の指定を行う。ただし、この宣書から除く旨の表示を追記欄にした関は、指定から除かれる。出願人は、これらの追加される指定が確認を条件としていること、並びに優先日から15月が経過する前にその確認がなされない指定は、この期間の経過時に、出願人によって取り下げられたものとみなされることを賞書する。 (指定の確認は、指定を特定する通知の提出と指定手数料及び確認手数料の納付からなる。この確認は、優先日から15月以内に受理書序へ提出しなければならない。)

Ι S アイスランド Iceland

 $\geq \!\!\! \leq$ 

「 N インド India

▼ FC E ケニア Kenya

区 FC コルギス Kyrgyzstan ......

区 降国 Republic of Korea

* 4	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	4 g			
第VI欄 僅先格	<b>建主</b> 强	他の優先権の主張(先の出願)が過	<b>自記棚に記載され</b>		
先の出顧日	先の山願番号				
(日. 月. 年)		国内出顧 : 国 名	広城出願 : *広城官庁名	国際出版 : 受理官庁名	
20. 01. 99	平成11年特許願 第 12392号	日本国 JP	i.,		
(2)	N 1 2 0 0 2 1				
	_	*			
(3)					
		·			
上記 ( ) の番号の先の ものに限る) のうち、さ 事務局へ送付することを	の出顧 <i>(ただし、本国際出願が提</i> 次の ( ) の番号のものについて た、受理官庁 (日本国特許庁の長?	出される受理官庁に対して提出され は、出願香類の認証階本を作成し国 官)に対して請求している。:	(1)		
	の特許出願である場合には、その: ( O (b) (i i) ) 。 追記欄を参照。	先の出顧を行った工業所有權の保護	のためのパリ条約同盟国の少なく	とも1 ヶ国を追記欄に表示しなり	
第VII 欄 国際制	1 塗機関				
国際調査機関(	(ISA) の選択	先の間間で新年の千 国際関資機関によって既に実施又		奎の照会 (先の調査が、	
		出願日 (日. 月. 年)	出願番号	国名 (又は広城官庁)	
ISA/	l 5				
第四個 照合機	; 出順の言語	<u> </u>			
この国際出願の用紙の枚数はめ	このとおりである。 この国際	最出額には、以下にチェックした書	類が添付されている。	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
殿書 ・・・・・・・・・	・・ 4 枚 1.	手数料計算用紙		第Ⅵ欄の( )の番号を記載する)	
明細杏(配列表を除く)・・	19 枚	→ 納付する手数料に相当する特許 印紙を貼付した書面	· · ·		
調求の範囲 ・・・・・・	・・ 7 枚	一 印紙を貼りした書画 国際事務局の口座への振込みを 証明する事画	6. 国際出願の翻訳文	(翻訳に使用した言語名を記載す	
要約書 ・・・・・・・・	1 枚 2.	別個の記名押印された委任状		は他の生物材料に関する藝面	
図面	· · 0 枚 3. [	包括委任状の写し	8. ヌクレオチド又は (フレキシブルデ	アミノ酸配列設	
明細瞥の配列表・・・・・・	・・ 0 枚 4.	記名押印(署名)の説明書	9. こ その他 (登類名を	•	
- - - - - -	31 枚				
契約書とともに提示する図面:	本国	際出願の使用書語名: 日 2	祖子		
第1X欄 提出者	の記名押印			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
各人の氏名 (名称) を記載し、	その次に押印する。		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
協和醱酵工業株式	完会社 伽	橋本信一塔	尾崎 明夫		
	松薫シ	米谷 良之	•		
		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			
1.国際出顧として提出された	<b>番類の実際の受理の日</b>	- 愛趣官庁記入欄		2. 図面	
3. 国際出願として提出された	受型された				
その後期間内に提出された。	その後期間内に提出されたものの実際の受理の日(訂正日)				
4. 特許協力条約第11条(2)	こ基づく必要な補完の期間内の受	型の日		一	
5. 出額人により特定された 国際調査機関	ISA/JP	16.11	いにつき、国際調査機関に 合付していない .	-	

- 国際事務局記入欄 -記録原本の受理の日

最出願の一部を構成せず、国際出願の用紙の枚数に算入し

P C T	受理官庁記入欄 ————
手数料料料料	
手数 料 計 第 月 紙	国際出版 器 号
山瀬人又は代理人の聾痴記号	<del></del>
1 1 7 9	受理官庁の日付印
出額人	
協和醱酵工業株式会社	
所定の手数料の計算	
1. 及び2. 特許協力条約に基づく国際出願等に関する法律(国内法) 第18条第1項第1号の規定による手数料 (左1) (送付手数料 [T] 及び調査手数料 [S] の合計)	95,000 A T+S
3. 国際手数料 (注2)	
基本手数料	
国際出願に含まれる用紙の枚数 31 枚	
最初の30枚まで・・・・・・・・・・・・・・・・	46,000 円 b l
1 × 1,100 = 3 O 依を越える用紙の枚数 用紙 1 枚の手数料	1,100 円 6 2
b 1 及び b 2 に記入した金額を加算し、合計額をBに記入	47,100 PI B
指定手数料	
国際出願に含まれる指定数 (注3) 82	
8 × 9,900 = -  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -  -	79,200 F D
の数 (上限は10) (円) (注4)	
B及びDに記入した金額を加算し、合計額をIに記入・・・・・・	· 126,300 円 1
4. 納付すべき平数料の合計	
T+S及び!に記入した金額を加算し、合計額を合計に記入	221,300
· · ·	合 計
(注1) 送付手数料及び調査手数料については、合計金額を特許印紙	をもって納付しなければならない。
(注2) 国際手数料については、受理官庁である日本国特許庁の長官。 明する普面を提出することにより納付しなければならない。	が告示する国際事務局の口座への振込みを証
(注3) 顧書第4欄でレ印を付した口の数。	
.(注4) 指定数を記入する。 ただし、10指定以上は一体10とす。	<i>5</i> .

PCT WINDTIFICATION OF TRANSMITTAL OF COPIES OF TRANSLATION THE INTERNATIONAL PRELIMINARY EXAMINATION REPORT

(PCT Rule 72.2)

From the INTERNATIONAL BUREAU

To:

KYOWA HAKKO KOGYO CO., LTD. 6-1, Ohtemachi 1-chome Chivoda-ku Tokyo 100-8185 **JAPON** 

Date of mailing (day/month/year) 30 April 2001 (30.04.01)

Applicant's or agent's file reference

1179

International application No. PCT/JP00/00245

IMPORTANT NOTIFICATION

International filing date (day/month/year) 20 January 2000 (20.01.00)

Applicant

KYOWA HAKKO KOGYO CO., LTD. et al

#### 1. Transmittal of the translation to the applicant.

The International Bureau transmits herewith a copy of the English translation made by the International Bureau of the international preliminary examination report established by the International Preliminary Examining Authority.

#### 2. Transmittal of the copy of the translation to the elected Offices.

The International Bureau notifies the applicant that copies of that translation have been transmitted to the following elected Offices requiring such translation:

EP,AT,AU,CA,CH,CN,CZ,FI,NO,NZ,PL,RO,RU,SK,US

The following elected Offices, having waived the requirement for such a transmittal at this time, will receive copies of that translation from the International Bureau only upon their request:

AP,EA,AE,AL,AM,AZ,BA,BB,BG,BR,BY,CR,CU,DE,DK,DM,EE,ES,GB,GD,GE,GH,GM,HR,HU,ID,IL, IN,IS,JP,KE,KG,KR,KZ,LC,LK,LR,LS,LT,LU,LV,MA,MD,MG,MK,MN,MW,MX,PT,SD,SE,SG,SI,SL, TJ,TM,TR,TT,TZ,UA,UG,UZ,VN,YU,ZA,ZW,OA

#### 3. Reminder regarding translation into (one of) the official language(s) of the elected Office(s).

The applicant is reminded that, where a translation of the international application must be furnished to an elected Office, that translation must contain a translation of any annexes to the international preliminary examination report.

It is the applicant's responsibility to prepare and furnish such translation directly to each elected Office concerned (Rule 74.1). See Volume II of the PCT Applicant's Guide for further details.

The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland

Authorized officer

Eliott Peretti

Telephone No. (41-22) 338.83.38

Facsimile No. (41-22) 740.14.35

Form PCT/IB/338 (July 1996)

AF / ED

WPBJD

PCT

LINDTIFICATION CONCERNING
SUBMISSION OR TRANSMITTAL
OF PRIORITY DOCUMENT

(PCT Administrative Instructions, Section 411)

From the INTERNATIONAL BUREAU

To:

KYOWA HAKKO KOGYO CO., LTD. 6-1, Ohtemachi 1-chome Chiyoda-ku Tokyo 100-8185 JAPON

Date of mailing (day/month/year) 16 March 2000 (16.03.00)	
Applicant's or agent's file reference	IMPORTANT NOTIFICATION
International application No. PCT/JP00/00245	International filing date (day/month/year) 20 January 2000 (20.01.00)
International publication date (day/month/year)  Not yet published	Priority date (day/month/year) 20 January 1999 (20.01.99)
Applicant  KYOWA HAKKO KOGYO CO., LTD. et al	

- 1. The applicant is hereby notified of the date of receipt (except where the letters "NR" appear in the right-hand column) by the International Bureau of the priority document(s) relating to the earlier application(s) indicated below. Unless otherwise indicated by an asterisk appearing next to a date of receipt, or by the letters "NR", in the right-hand column, the priority document concerned was submitted or transmitted to the International Bureau in compliance with Rule 17.1(a) or (b).
- 2. This updates and replaces any previously issued notification concerning submission or transmittal of priority documents.
- 3. An asterisk(\*) appearing next to a date of receipt, in the right-hand column, denotes a priority document submitted or transmitted to the International Bureau but not in compliance with Rule 17.1(a) or (b). In such a case, the attention of the applicant is directed to Rule 17.1(c) which provides that no designated Office may disregard the priority claim concerned before giving the applicant an opportunity, upon entry into the national phase, to furnish the priority document within a time limit which is reasonable under the circumstances.
- 4. The letters "NR" appearing in the right-hand column denote a priority document which was not received by the International Bureau or which the applicant did not request the receiving Office to prepare and transmit to the International Bureau, as provided by Rule 17.1(a) or (b), respectively. In such a case, the attention of the applicant is directed to Rule 17.1(c) which provides that no designated Office may disregard the priority claim concerned before giving the applicant an opportunity, upon entry into the national phase, to furnish the priority document within a time limit which is reasonable under the circumstances.

Priority date

Priority application No.

Country or regional Office or PCT receiving Office

Date of receipt of priority document

20 Janu 1999 (20.01.99)

11/12392

JP

10 Marc 2000 (10.03.00)

The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland

Authorized officer

Taïeb Akremi 🛧

Facsimile No. (41-22) 740.14.35

Telephone No. (41-22) 338.83.38

#### PCT

NOTICE INFORMING THE APPLICANT OF THE COMMUNICATION OF THE INTÉRNATIONAL APPLICATION TO THE DESIGNATED OFFICES

(PCT Rule 47.1(c), first sentence)

From the INTERNATIONAL BUREAU

KYOWA HAKKO KOGYO CO., LTD. 6-1, Ohtemachi 1-chome

Chiyoda-ku Tokyo 100-8185 JAPON .

Date of mailing (day/month/year) 27 July 2000 (27.07.00)

Applicant's or agent's file reference

1179

IMPORTANT NOTICE

International application No. PCT/JP00/00245

International filing date (day/month/year) 20 January 2000 (20.01.00)

Priority date (day/month/year) 20 January 1999 (20.01.99)

Applicant

KYOWA HAKKO KOGYO CO., LTD. et al

1. Notice is hereby given that the International Bureau has communicated, as provided in Article 20, the international application to the following designated Offices on the date indicated above as the date of mailing of this Notice: AU, JP, KR, US

In accordance with Rule 47.1(c), third sentence, those Offices will accept the present Notice as conclusive evidence that the communication of the international application has duly taken place on the date of mailing indicated above and no copy of the international application is required to be furnished by the applicant to the designated Office(s).

2. The following designated Offices have waived the requirement for such a communication at this time:

AE,AL,AM,AP,AT,AZ,BA,BB,BG,BR,BY,CA,CH,CN,CR,CU,CZ,DE,DK,DM,EA,EE,EP,ES,FI,GB,GD, GE,GH,GM,HR,HU,ID,IL,IN,IS,KE,KG,KZ,LC,LK,LR,LS,LT,LU,LV,MA,MD,MG,MK,MN,MW,MX,NO, NZ,OA,PL,PT,RO,RU,SD,SE,SG,SI,SK,SL,TJ,TM,TR,TT,TZ,UA,UG,UZ,VN,YU,ZA,ZW The communication will be made to those Offices only upon their request. Furthermore, those Offices do not require the applicant to furnish a copy of the international application (Rule 49.1(a-bis)).

3. Enclosed with this Notice is a copy of the international application as published by the International Bureau on 27 July 2000 (27.07.00) under No. WO 00/43533

#### REMINDER REGARDING CHAPTER II (Article 31(2)(a) and Rule 54.2)

If the applicant wishes to postpone entry into the national phase until 30 months (or later in some Offices) from the priority date, a demand for international preliminary examination must be filed with the competent International Preliminary Examining Authority before the expiration of 19 months from the priority date.

It is the applicant's sole responsibility to monitor the 19-month time limit.

Note that only an applicant who is a national or resident of a PCT Contracting State which is bound by Chapter II has the right to file a demand for international preliminary examination.

#### REMINDER REGARDING ENTRY INTO THE NATIONAL PHASE (Article 22 or 39(1))

If the applicant wishes to proceed with the international application in the national phase, he must, within 20 months or 30 months, or later in some Offices, perform the acts referred to therein before each designated or elected Office.

For further important information on the time limits and acts to be performed for entering the national phase, see the Annex to Form PCT/IB/301 (Notification of Receipt of Record Copy) and Volume II of the PCT Applicant's Guide.

The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland

Authorized officer

J. Zahra

Telephone No. (41-22) 338.83.38

Form PCT/IB/308 (July 1996)

Facsimile No. (41-22) 740.14.35

#### PCT

#### INFORMATION CONCERNING ELECTED OFFICES NOTIFIED OF THEIR ELECTION

(PCT Rule 61.3)

6-1, Ohtemachi 1-chome Chiyoda-ku Tokyo 100-8185 **JAPON** LJD JL = 10

IMPORTANT INFORMATION

From the INTERNATIONAL BUREAU

KYOWA HAKKO KOGYO CO., LTD.

Date of mailing (day/month/year)

28 September 2000 (28.09.00)

Applicant's or agent's file reference

1179

International application No.

PCT/JP00/00245

International filing date (day/month/year) 20 January 2000 (20.01.00)

Priority date (day/month/year)

20 January 1999 (20.01.99)

Applicant

KYOWA HAKKO KOGYO CO., LTD. et al

The applicant is hereby informed that the International Bureau has, according to Article 31(7), notified each of the following Offices of its election:

AP:GH,GM,KE,LS,MW,SD,SL,SZ,TZ,UG,ZW

EP:AT,BE,CH,CY,DE,DK,ES,FI,FR,GB,GR,IE,IT,LU,MC,NL,PT,SE

National: AU, BG, CA, CN, CZ, DE, IL, JP, KR, MN, NO, NZ, PL, RO, RU, SE, SK, US

2. The following Offices have waived the requirement for the notification of their election; the notification will be sent to them by the International Bureau only upon their request:

EA:AM,AZ,BY,KG,KZ,MD,RU,TJ,TM

OA:BF,BJ,CF,CG,CI,CM,GA,GN,GW,ML,MR,NE,SN,TD,TG

National :AE,AL,AM,AT,AZ,BA,BB,BR,BY,CH,CR,CU,DK,DM,EE,ES,FI,GB,GD,GE,GH,

GM,HR,HU,ID,IN,IS,KE,KG,KZ,LC,LK,LR,LS,LT,LU,LV,MA,MD,MG,MK,MW,MX,PT,SD,

SG,SI,SL,TJ,TM,TR,TT,TZ,UA,UG,UZ,VN,YU,ZA,ZW

The applicant is reminded that he must enter the "national phase" before the expiration of 30 months from the priority date before each of the Offices listed above. This must be done by paying the national fee(s) and furnishing, if prescribed, a translation of the international application (Article 39(1)(a)), as well as, where applicable, by furnishing a translation of any annexes of the international preliminary examination report (Article 36(3)(b) and Rule 74.1).

Some offices have fixed time limits expiring later than the above-mentioned time limit. For detailed information about the applicable time limits and the acts to be performed upon entry into the national phase before a particular Office, see Volume II of the PCT Applicant's Guide.

The entry into the European regional phase is postponed until 31 months from the priority date for all States designated for the purposes of obtaining a European patent.

The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes

Authorized officer:

Diana Nissen

Telephone No. (41-22) 338.83.38

1211 Geneva 20, Switzerland

Facsimile No. (41-22) 740.14.35 Form PCT/IB/332 (September 1997)

#### From the INTERNATIONAL BUREAU

#### PCT

NOTIFICATION OF RECEIPT OF RECORD COPY

FEB 2 1, 2000 (PCT Rule 24.2(a))

WPAJD

To:

KYOWA HAKKO KOGYO CO., LTD. 6-1, Ohtemachi 1-chome Chiyoda-ku Tokyo 100-8185 **JAPON** 

Date of mailing (day/month/year) 08 February 2000 (08.02.00)	IMPORTANT NOTIFICATION
Applicant's or agent's file reference 1179	International application No. PCT/JP00/00245

The applicant is hereby notified that the International Bureau has received the record copy of the international application as detailed below.

Name(s) of the applicant(s) and State(s) for which they are applicants:

KYOWA HAKKO KOGYO CO., LTD. (for all designated States except US) HASHIMOTO, Shin-ichi et al (for US)

International filing date

20 January 2000 (20.01.00) 20 January 1999 (20.01.99)

Priority date(s) claimed Date of receipt of the record copy

by the International Bureau

04 February 2000 (04.02.00)

List of designated Offices

AP:GH,GM,KE,LS,MW,SD,SL,SZ,TZ,UG,ZW

EA:AM,AZ,BY,KG,KZ,MD,RU,TJ,TM

EP:AT,BE,CH,CY,DE,DK,ES,FI,FR,GB,GR,IE,IT,LU,MC,NL,PT,SE

OA:BF,BJ,CF,CG,CI,CM,GA,GN,GW,ML,MR,NE,SN,TD,TG

National: AE,AL,AM,AT,AU,AZ,BA,BB,BG,BR,BY,CA,CH,CN,CR,CU,CZ,DE,DK,DM,EE,ES,FI,GB, GD,GE,GH,GM,HR,HU,ID,IL,IN,IS,JP,KE,KG,KR,KZ,LC,LK,LR,LS,LT,LU,LV,MA,MD,MG,MK,MN, MW,MX,NO,NZ,PL,PT,RO,RU,SD,SE,SG,SI,SK,SL,TJ,TM,TR,TT,TZ,UA,UG,US,UZ,VN,YU,ZA,ZW

#### ATTENTION

The applicant should carefully check the data appearing in this Notification. In case of any discrepancy between these data and the indications in the international application, the applicant should immediately inform the International Bureau.

In addition, the applicant's attention is drawn to the information contained in the Annex, relating to:

X time limits for entry into the national phase

confirmation of precautionary designations

requirements regarding priority documents

A copy of this Notification is being sent to the receiving Office and to the International Searching Authority.

The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland

Authorized officer:

Y. KUWAHARA

Facsimile No. (41-22) 740.14.35

Telephone No. (41-22) 338.83.38